

官報

號外

明治三十三年二月十七日 土曜日

印刷局

○第十四回 帝國議會 衆議院議事速記錄第一二十八號

明治三十三年二月十六日(金曜日)午後一時十三分開議

議事日程 第二十七號 明治三十三年二月十六日

午後一時開議

第一 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 明治三十年法律第三十九號中改正法律案(政府提出)

第四 法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事

付(院送)

犯アリタル場合ニ關スル法律案(出貴族)

第五 水難救助護法中改正法律案(永井嘉六郎)

第六 府縣農事試驗場國庫補助法中改正法律案(稻垣示)

第七 舊神官配當祿處分法案(星松三郎外)

第八 市制中改正法律案(鈴木捷兵衛)

第九 市制町村制中改正法律案(堀家虎造外)

第十 印紙稅法中改正法律案(八名提出)

第十一 農業振興ニ關スル建議案(鈴木義左衛門)

第十二 支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案(大養毅外)

第十三 日本綏通業補助ニ關スル建議案(北田豊三郎)

第十四 糜絲業調査所設置ノ建議案(降旗元太郎)

第十五 石狩川治水ニ關スル建議案(加藤政之助)

第十六 (特別報告第八號)地價修正不當ニ付再修正
(請願)

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

秋保親兼君外四名提出兵卒待遇ニ關スル質問ニ對シ桂陸軍大臣ヨリ左ノ答

辯アリ

衆議院議員秋保親兼君外四名ヨリ兵卒待遇ニ關スル質問ニ對シ陸軍大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治三十三年二月十五日

衆議院議長片岡健吉殿

衆議院議事速記錄第一二十八號

明治三十三年二月十六日

議長ノ報告

衆議院議員秋保親兼君外四名提出兵卒待遇ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十三年二月十三日

陸軍大臣子爵桂太郎

衆議院議員秋保親兼君外四名提出兵卒待遇ニ關スル質問ニ對スル答辯書

陸軍大臣子爵桂太郎

陸軍大臣子爵桂太郎

第一項 下士及兵卒ノ新兵ニ對シテ虐待ノ行爲アリトハ本大臣ノ信セサル所ナリ若シ夫虐待ノ事實アルニ於テハ加害者ヲ軍法ニ處シ決シテ寛假スル所ナカルヘシ只彼等カ新兵教育ノ任ニ當ルヤ熱心ノ餘識ラズノ間其舉動ノ或ハ過嚴ニ涉ルナキヲ保セス是他ナシ毫モ軍事的素養ナキ壯丁ヲ驅テ峻嚴ナル軍紀ノ下ニ立タシメ僅々數月ニシテ戰鬪ニ堪ヘルノ技能ヲ習熟セシムルニハ最モ嚴格活潑ノ手段ヲ要シ到底學校教師ノ生徒ニ對スルト年ヲ同フシテ語ルヘカラサルモノアレハナリレトモ自由不規則ナル生活ニ慣レタル壯丁ニ對シ可成俄ニ急遽ナル變化ヲ感セシメサル如ク適當ニ薰陶スルヲ旨トシ各隊長ハ事態ノ許ス限り彼等ヲシテ軍隊生活性ヲ嫌忌セザラシムルコトニ勉メ居レリ

第二項 兵卒カ營内ノ雜役ニ使用セラル、ハ彼等ノ爲スヘキ勤務ノ一二シテ亦軍事教育ノ一部ナリ然レトモ常時下士古參兵ノ靴ヲ磨クカ如キハ素ヨリアルヘカラサルコトニシテ各隊ニ在テハ既ニ注意シ此等ノ弊ナカラシムルコトヲ努メ居レリ

第三項 在營兵卒ヨリ其父兄ニ對シ資財ヲ請求スルノ風アルハ事實ナリ此事ノ弊タル獨本人ニ止マラス軍紀上ニモ歎ナカラサル關係ヲ及ボスヲ以テ各團隊長ハ兵卒ニ對シ嚴重ナル監督ヲ勵行スルノ外或ハ團隊ニ依リテハ兵卒ノ父兄ニ注告シ或ハ地方官吏ニ交渉スル等出來得ル限リノ手段ヲ盡シテ之カ防遏ヲ努メツ、アルヲ以テ此惡弊ハ漸次減少スルノ情況ナルモ彼等ハ隊長ノ監督ノ及ヒ難キ例へハ營外休息所或ハ知人ノ家ニ宛テ、送金セシムル等種々ノ手段ヲ用ユルニ因リ此事ヲシテ全ク行ハレサルニ至ラシムルハ實際至難ノコトナリトス

營内ノ食物ハ適當ナル品質數量ヲ具フルモノニシテ決シテ粗惡不足ト云フヘキモノニ非サレトモ自由不規則ニ飲食ヲ爲シ來レル壯丁ノ一旦營ニニ痛苦ヲ感シ給食ヲ欲スルハ已ムヲ得サルコトナリ然レトモ概シテ入營入ルヤ一定ノ食物ヲ以テ律セラル、ニ痛苦ヲ感シ補食ヲ欲スルハ已ムヲ得サルコトナリ然レトモ概シテ入營當初ノ事情ニ遇キサレハ資財ヲ父兄ニ請求スルノ原因ノ重ナルモノトハ認メス

第四項 事實ナシ

右及答辯候也

貴族院ヨリ回付セラレタル議案左ノ如シ

(第一號)明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案

(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナリヘキ契約ヲナスヲ要スル件

貴族院ハ(特別第一號)明治三十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

大石正己君ヨリ外交ニ關スル再質問書及清國事變ニ關スル質問書ヲ提出セラタリ

(左)質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス
外交ニ關スル再質問書
右成規ニ據リ提出候也

明治三十三年二月十六日

提出者 大石 正己

賛成者 武富 時敏

外四十名

清國事變ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治三十三年二月十六日

提出者 大石 正己

賛成者 坂 本 金彌

外四十三名

本員ノ義日ノ質問ニ對スル政府昨日ノ答辯ハ其要領ヲ得ス仍テ再ヒ質問ス
ルコト左ノ如シ
一政府ノ答辯ハ政府ハ清國政府他日福建省内ニ鐵道ヲ敷設スルニ當リ他日ノ資本技師ヲ求ムル場合ニハ必ス先ツ之ヲ日本政府ニ相談スヘキ旨ヲ清國政府ト協定セリト謂フ是レ去ル明治三十一年中矢野全權公使ト清國政府ト協定セルモノナリ此協定ハ鐵道敷設権ヲ獲得スルニ於テ殆ト效力ナキモノトス政府ハ此協定ニ満足シテ更ニ爲ス所ナキ乎列國政府ハ競フテ清國內ニ鐵道ヲ敷設シ以テ各其國ノ利益ヲ進ムルニ汲々タルノ今日ニ當リ政府ハ我國人ヲシテ清國內ニ鐵道ヲ敷設セシムルノ必要ナシト認ムル乎若シ其必要ヲ認ムルトセハ何故ニ敷設権ヲ獲得スルノ手段ヲ取フサル乎
一政府ノ答辯ニ依レハ政府ハ其爲シ得ル範圍内ニ於テ清國鑛山ノ調査ヲ爲シツツアリ其採掘權ヲ得ンカ爲ニ曾テ清國政府ト交渉シタルコトナシト謂フ抑モ政府ハ如何ナル方法ニ依リ調査ヲナシツツアル乎實地ニ人ヲ派シ調査ヲ爲サシメントツアル乎又政府ハ其調査未タ完カラサルカ爲メニ清國政府ト交渉スルニ至ラサル乎抑モ亦採掘權ヲ獲得スルニ意ナキ乎
一前二項政府ノ答辯ニ依リ政府ハ清國ノ鐵道及鑛山ヲ放棄シテ顧ミサルモノトスレハ政府ハ當ニ清國ニ於ケル我國ノ利益ヲ進ムルニ意ナキノミナラス遂ニ清國ニ於ケル列國權力ノ平衡ヲ保維スルノ意ナキ乎
一政府ノ答辯ハ明治二十九年中政府ハ清國重慶ニ帝國委員ヲ派シ約拾萬坪ノ居留地ヲ豫定セリト謂フニ過キ爾來政府ハ何故ニ專管居留地區ヲ確定スルノ手段ヲ取ラサル乎明治二十九年ヨリ今日ニ至ルマテ五年ノ星霜慢ニアラスト謂フコトヲ得ル乎
一政府ノ答辯ハ京釜鐵道發起人ハ未タ會社ヲ組織スルニ至ラス又政府ハ該發起人等ヨリ公然利子補給ノ請願ヲ受ケタルコトナシト謂フ抑モ京釜鐵道ノ敷設ハ啻ニ我國ト韓國トノ通商貿易上必要ナルニミナラス我國カ韓國ノ獨立ヲ扶植スルノ外交政策上亦極メテ必要ナルコトヲ政府ハ認メサル乎若シ其必要ヲ認ムトセハ何故ニ該發起人等ヲ勸誘シ獎勵シ速ニ會社ヲ組織セシメ其工事ニ著手セシムルノ手段ヲ取ラサル乎今日ニ至ル迄該發起人等ノ會社ヲ組織セサルニ籍口シテ空シク放棄シ置クハ政府ノ怠慢ニアラスト謂フコトヲ得ヘキ乎
一政府ノ答辯ハ韓國政府ハ國內鐵道ヲ次第自ラ經紀シ外國人ニ敷設ノ許可ヲ與ヘス云々是政府ノ答辯ヲ待チテ初メテ知ラサルナリ韓國政府自ラ國內鐵道ヲ經紀スヘシト謂ハ政府ハ韓國政府能ク自ラ之ヲ經紀シ得ヘシト信スル乎彼ノ國內鐵道用達會社ノ如キモノ能ク京元鐵道ヲ敷設ノ成績シ得ヘシト信スル乎今日ノ韓國ノ狀況ニ於テ韓國自ラ是等ノ大事業ヲ設權ヲ獲得スルノ手段ヲ取ラサル乎

(大石正己君演壇ニ登ル)

○大石正己君(二百七十六番) 私ハ昨日外務當局者カラ答辯ニナリマシタル

君(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス——大石正己

外交ニ關スル再質問書
右成規ニ據リ提出候也

一政府ノ答辯ハ露國ヲデサニ正式領事館ヲ設置スルコトヲ希望スト雖モ三年三月ニ於テハ財政上ノ理由ニ依リ新設費用ヲ要求セスト謂フト雖モ其新設費用ハ僅タ少額ノミ之ヲ支出スルニ於テ何ノ難キコトカ之レアランヤ且ツ夫レ昨年度ニ於テハ之ヲ要求シ本年度ハ之ヲ要求セス所謂財政上ノ理由昨年ト本年ト何等ノ相異アルカ

右及質問候也

清國事變ニ關スル質問主意書
清國事變ニ關スル質問主意書
清國事變ニ關スル質問主意書
清國事變ニ關スル質問主意書

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、此委員ハ議長ノ指名ヨリ成立クテ居リマスカラ、議長ハ鈴木萬次郎君ヲ補闕ニ指名致シマス、委員長安川繁成君カラ治安警察法案及行政執行法案ノ委員會ヲ開キダイト云フコトアリマス、是モ許シテ御異議ハアリマセヌカ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、委員長安川繁成君カラ刑法中改正法律案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトアリマスガ、磬根君カラ御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス
○星亨君(九十一番) 鐵道國有法案外一件ノ委員會ヲ是ヨリ開キタウ存シマスガ、許可アランコトヲ希望致シマス
○議長(片岡健吉君) 委員長星亨君ヨリ鐵道國有法案外一件ノ委員會ヲ開キタイト云フコトアリマスガ、許シテ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、是ヨリ會議ヲ開キマス
○星亨君(九十一番) 鐵道國有法案外一件ノ委員會ヲ是ヨリ開キタウ存シマスガ、許可アランコトヲ希望致シマス
○議長(片岡健吉君) 委員長星亨君ヨリ鐵道國有法案外一件ノ委員會ヲ開キタイト云フコトアリマスガ、許シテ御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス——大石正己
(大石正己君演壇ニ登ル)
外交質問ニ對スル答辯ノ甚ダ質問ニ對スル要領ヲ得ナイ譯アリマスカラ、

再ビ質問ヲ致ス考デアリマス、此凡ツ質問ニ對シテ政府ノ答辯ト云フモノハ、其質問セラレタルコトニ對シテ、答辯ノ出來ル限ハ答辯ヲスル、答辯ノ出來ザル理由ガアルトキニハ、答辯ナシナイ理由ヲ附シテ答辯ヲスルノデアル、ソレデ詰リ此質問ニ對スル政府ノ態度ハ答辯ヲスルカ、若クハセナイカト云フニヨリ外ニナイガ、此昨日ノ答辯ナルモノハ答辯ヲシナイト云フ範圍ニモ這入ラナイ、又答辯ヲシタト云フ譯ニモナラナイ、一種曖昧模稜ノ間ニ此質問ヲ埋没サセルト云フ答辯ノ仕方デアル、是ハ其將來議員カラ政府ニ對シテ質問ヲスル、此權利ニ向クテ甚ダ惡例ヲ遺スコトデアリマス、ソレデ斯ノ如キ答辯ヲスルヤウナ當局者ニ屢々出テ質問ヲ請フト云フコトハ、如何ニモイヤナ仕事デアリマスケレドモ、一應是ハ議院ノ將來ノ惡例ニモナルコトデアリマスカラ、重テ茲ニ其事ヲ言ハザルヲ得ヌ場合ニ立至リマシタ、ソレハ何トナレバ答辯ト云フモノハ、問ウタ其大趣意ニ向クテ答ヘルノデアル、若シ答ヘナケレバ是ハ答ヘラレヌ理由ガ斯ウ云フ譯デアルト云フコトヲ云フノデアル、昨日ノ質問ニ對スル答辯ト云フモノハ、問ウタ趣意ニ答ヘモシナケレバ、又寧ロ答辯が出來ナイト云フコトモ言ハナイノデアル、是ハ甚ダ不都合ノ仕方デアリマス、是ハ或ハ外務省ノ當局者ガ色ム文ヲ舞ハシテ、一種曖昧ノ間ニ遺路ヲ求メタモノト見エル、然ルニ此議院ヲ甚ダ輕シタ譯デ、大概ノ事ナラ是ハ遙シテヤルベキダガ、斯ノ如キコトハ見遁サレヌ、何トナレバ第一問ニ對シテ政府ハ答ヘテ曰ク、清國政府ト協定ヲ經テ、サウシテ此福建省ニ於ケル鐵道敷設ノ必要ヲ清國政府が感ズルトキニハ、先づ其資本若クハ技師ト云フモノヲ外國ヨリ一之ヲ必要トスレバ一番ニ日本本相談ヲスルト云フ、此箇條ヲ以テ答ヘテ居ル、本員ガ質問シタ趣意ハ決シテサウテナイ、此清國ニ於ハ、今ノ政府デハナイ、餘程前ノコトダ、今ノ政府が決シテ協定ヲ經タモノを得ルダケノ政府ノ盡サレタ手段ハ、如何ナルモノデアルカト云フノガ問デアル、ソレヘ向クテ此清國政府ト政府ハ協定ヲ經テ、斯ウ云フモノヲ得テ居ルト云フ、餘程是ハ御自慢ラシク申立ツテアルガ、是ハ此協定ヲ經シテサウテナイ、此清國ニ於ハ、今ノ政府デハナイ、餘程前ノコトダ、今ノ政府が決シテ協定ヲ經タモノハナイ、是ハ誰デモ知シテ居ル、即チ此福州支那國ニ於テ列國ガ競ウテ、此處ナ部分、此處ナ部分ト云フ勢力範囲ヲ争フ場合ニ當シテ、福州ノ不割讓ヲ請求シタ場合ノ話デアル、此又協定ヲ經テ居ルコトガ——一種此協定ヲ經テ居ルコトガ、今ノ政府ノシタ仕事デアルト、之ヲ假ニ看做シテ、サウシテ此協定ト云フコトガ、ドレダケノ利益ガアルカ云フコトヲ考ヘテ見レバ、此協定ヲ經テ居ル覺書ナルモノハ、其協定シタ場合ニハ多少ノ效力ガアッタカ知ラヌケレドモ、今日ニ於テハ何ノ效力ガナイト云ウテ宜シイ、何トナレバ此鐵道ヲ他日支那政府が鐵道ヲ架ケルトキニハ、外國ノ資本ト外國ノ技師ヲ要スル場合ニハ、先づ日本政府ニ相談ヲスベシト云フ箇條デアル、所ガ支那政府ガ此福州アタリマデモ鐵道ヲ自分ノ國カラ必要ヲ感ジタ時假ニ假定メタ所ガ、自分ノ資本自分ノ國ノ技師デヤルトキニハ、日本へ相談スル必要ハナイ、スレバ日本ハ此協定ガアルガタメニ、日本ガ鐵道敷設權ト云フモノガアルト云フ理ハ、決シテアリハシナイ、又モウ一此鐵道ヲ架ケルニ依シテ、外國ノ資本ト外國ノ技師ヲ要スルトキニ日本政府へ相談ヲスルト云フダケノコトデアルカ、ナイコトデアルカト云ハ、無論分ツタ話デアル、此支那ガ今日ノ場合ニ於テ、自ラ鐵道ヲ架ケル必要ヲ感スルト云フコトハ、恐ラクハ五十年百年經シテモ感ゼヌカモ知レヌ、若シ此支那政府ガ鐵道ヲ架ケル必要ヲ感ジタ時假ニ假定メタ所ガ、自分ノ資本自分ノ國ノ技師デヤルトキニハ、日本へ相談スル必要ハナイ、スレバ日本ハ此協定ガアルガタメニ、日本ガ鐵道敷設權ト云フモノガアルト云フ理ハ、決シテアリハシナイ、又モウ一此鐵道ヲ架ケルニ依シテ、外國ノ資本ト外國ノ技師ヲ要スルトキニ日本政府へ相談ヲスルト云フダケノコトデアルカ、ナイコトデアルカト云

鐵道敷設權ヲヤルト云フ約束チャアナイ、サスレバ此鐵道ヲ架ケルトキニ外國ノ技師ト外國ノ資本ヲ要スルト云フコトハ、今日ニ於テ何ノ效能モナイ協定デアル、第一ニハ支那政府ガ鐵道ヲ敷ケバ日本ニ相談スル必要ハナイ、自分ノ資本ト自分ノ技師ヲ以テヤレバ一向日本ニ關係ガナイ、若シ之ニ相談シム所ガ、日本ノ技師ト日本ノ資本デシナケレバナラヌト云フコトハナイ、サスレバ此協定書ト云フモノハ其場合ニナシテ外ニ取ラレルト云フタメニ云フモノカ知ラヌケレドモ、今日ノ場合ニ於テハ決シテ必要ハナイ、又左程是ガ鐵道敷設權ヲ得ルト云フ上ニ於テ效力ハナイモノデアル、サスレバ政府ガ日本ノ今日ノ場合、日本國ガ清國ニ於テ鐵道敷設權ヲ必要ト認ムルカ否ヤト云フ問題ニ對シテ、殆ド答ヘテ居ラヌ、又之ヲ必要トスレバドウ云フコトヲシテ居ルカト云フノ問ニハ、更ニ是ハ答辯ニナシテ居ラナイガ、然ルニ是ハ一方ト云フ必要ガアルカナイカト云フニ至シテ、ナイト云フコトヲ答ヘルコトハ、是ハ餘程園ツタモノト見エル、然ラバアルト云ウテ見タトキニ何シテモ居ラヌト云フコトガ一方ニ現レテ來ル、ソレ故ニ有ルトモ無イトモ言ハヌ問ニ之ヲ胡麻化シテ往カウト云フは答辯ノ仕方デアル、是ハ政府ノガ詰リノ道路ヲ見附ケタト云フニ遇ギス答辯ノ仕方デ、誠ニ此日本ノ國家ノ上カラ此是ハ遙シテヤルベキダガ、斯ノ如キコトハ見遁サレヌ、何トナレバ第一問ニ對シテ政府ハ答ヘテ曰ク、清國ニ對スル鐵道敷設權ト云フモノニ重キヲ置カヌト云フヤリ方ニ於テハ、甚ダ歎ズベキ次第テアル、ソレカラ此第二ノ問ニ對シテ鑛山採掘權ト云フモノヲ、是ハ日本ガ支那國ニ於テ必要ト認メルヤ否ヤ、若シ認メルナラバ政府が調査シテ居ルカ、若クハ交渉シタコトガアルカナイカト云フノ問ニ對シテ、政府ハ答ヘテ曰ク、鑛山ハ政府ノ爲シ得ル限調查シツ、アル、ソレカラ此支那政府ト之ニ附イテ交渉シタコトガアルカナイカト云フ所ノ意味ニ對シテ云フモノヲ、是ハ日本ガ支那國ニ於テ必要ト認メルヤ否ヤ、若シ認メルナラバ、是ハ判然シナイト云フコトヲ答ヘテ居ル、是ハ寧ロ男ラシイ答ヘ方デアル、何ニモシテ居リマセヌタト云フコトヲ白狀シタノデアル、此鑛山ニ附イテ調査ヲシツ、アルト云フコトハ、是モドウモ甚ダ怪シイ、何トナラバ此支那ノ鑛山ノコトニ附イテ、日本政府ニ於テ人ヲ派セズ、技師ヲ遣サズ、地圖ヲ開ハ、事實ニ照シテモ其時ノ調ニ於テ、日本ニ於テ今日支那ノ鑛山ノ實地ト云フイテ書類ヲ見タ位デ、決シテ分ラヌト云フコトニナシタ上、是ハ調査ヲセニヤル、何ニモシテ居リマセヌタト云フコトヲ白狀シタノデアル、此鑛山ニ附イテ居ル、既ニ昨年アタリニ於テモ、之ヲ必要トシテ彼ノ地ニ技師ヲ派シタラト云フコトニ附イテハ、餘程協議ヲシツ、其事ヲ運ビツ、アタマト云フコトハ、何處デ調査ヲシヨルノデアルカ、技師ヲ實地ニ派シテ調査ヲシヨルノデアルカ、未ダ其事ヲ聽カナイ、實際恐ラクハナイデアル、サウスレバ内務省ノモノハ分ラヌト云フコトニナシタ上、是ハ調査ヲセニヤラヌ、人ヲ派セニヤラヌト云フコトヲ云フ誣議ニ及シダコトガアル、スレバ今調査ヲシツ、アルト云フコトハ、何處デ調査ヲシヨルノデアルカ、技師ヲ實地ニ派シテ調査ヲシヨルノデアルカ、未ダ其事ヲ聽カナイ、實際恐ラクハナイデアル、サウスレバ内務省ノモノハ分ラヌト云フコトニナシタ上、是ハ調査ヲセニヤラヌ、人ヲ派セニヤラヌト云フコトヲ云フ誣議ニ及シダコトガアル、又今日調査ヲシツ、アルト云フコトハ、何事デアル、是ハ今日マデ實ハ急シテ居リマシタト云フ白狀ノ言換デアル、列國各々此處ニ手ヲ著ケル際ニ於テ、日本ハマダ調査シツ、アル、而モ其調査シツ、アルト云フ是ハ、即チ派シタニモアラズ、何處デ調査シツ、アルトコトアタカ知ラヌガ、是ハ調査ニハナラナイノデアル、又今日調査ヲシツ、アルト云フコトハ、何事デアル、是ハコトヲ斷然ト云フコトガ出來ナイカラ、ソコアソレナラバドレダケ交渉ヲシテ居ルカト云フニ至シテ、何モシテ居ナイ、唯調査シツ、アルト言シテ、政府ハスル積デアルトカ云フ先づ意味ヲ裏兩院ヲ面ニ勾ハシタモノト考ヘル、然ルニ其調査タルヤ、今申ス通ノコトデアツテ、甚ダ怪シイ譯デアル又愈政

府ガヤル積デアルナラバ、調査ガ不完全ナルガタメニ、請求ヲシナカツタノアルカ、然ラバ調査ガ完成シタ上ニハ、又交渉ヲ開イテ取ルダケノ手段ヲ盡スカト云フコトヲ問ウテ見タイコトデアル、ソレカラモウ一ツ大切ナ問題ハ、即チ此京釜鐵道ノ一件デアリマス、是ハ過日上下兩院ヲ通過シテ建議案ガ成立シテ居リマスルガ、然ルニ此京釜鐵道ノ質問ノ趣意ハ、凡ソ期限ノアルモノデ、期限ガ切迫シテ來ルニ今日未ダ著手セヌト云フコトハ、餘程是ハ怠慢デハナイカ、若シ是ガ期限ガ切レルト云フトキニハ、政府ハ之ヲ拠棄シテシマフ積デアルカ、將タ是ニ著手ヲシテ、其契約ヲ有效ナラシメテ、此京釜鐵道ハ我日本ノ國ノ勢力ノ下ニ之ヲ管理スルヤウニ致サセルカ、ドウデアルカト云フノガ問ノ趣意デアル、其問ニ對シテ政府ノ答ヲ御覽ナサイ彼ノ京釜鐵道ノ發起人等ハ、特權ヲ得タケレドモ未ダ會社ヲ組織シナイ、又政府ハ公然ト此發起人カラシテ交渉ヲ受ケタコトモナイ、利子補給ノ請願ヲセラレタコトモナイト答ヘテ居ル、是ハ實ニ怪シカラヌ答ノシャウデハナイカ、何トナラバ此京釜鐵道ト云フモノハ、元ト是ハ政府が殆ド發起シテ、サウシテ此朝鮮國ノ獨立進歩又我國ノ貿易利益線ヲ擴張スルト云フ上ニ於テ、必要デアルト云ウテ、餘程ノ力ヲ以テ政府ガ之ヲ取ツタ權利デアル、而シテ今日發起人ガ會社ヲ組織セヌトカ第一事實ガ違ツテ居ル、成ル程公然タル社名ヲ附ケテ届出ヲセヌカモ知ラヌガ、即チ百七十八人ノ經濟社會ニ於テ有力ナ方々ガ發起人ト爲ツテ、サウシテ力ヲ併セテ今日勵イテ居ル、幾度カ調査ニ人ヲ出し、幾度カ此工事ノタメニ集會ヲシ、又政府ニ交渉ヲシ、既ニ其實是ハ會社が成立シテ居ルノデアル、モウ一ツハ公然ト利子補給ノ請願ラシテ來ナイカラト、斯ウ云フ答デアル、是ハ質問ノ趣意ニ全ク關係ノナニコトヲ答ヘテ居ル、質問ノ趣意ハ即チ此京釜鐵道ハ、ドウスルカト云フノガ質問ノ趣意デアル、ソレニ向ツテ發起人等カラ利子補給ノ請願ガ來ナイ、斯ウ云フ利子補給ノ請願ヲ政府ニセラレタコトガアルカナイカト云フコトハ、決シテ問ハシナイ、又殊ニ此政府デ大切ナ鐵道デアルト云フコトヲ認メテ居ル以上ハ、發起人ヲ電話デ呼シテモ、直グニ相談ガ出來ルチャナイカ、忽チ發起人等ト相談シテ、或ハ會社ヲ組織サセルナリ、又利子補給ノ一件ナリ、之ヲ交渉スルコトハ、何時デモ出來ル、是ハ全ク怠慢ノ責ヲ唯當局者ガ逃レンガタメニ、此會社ノ發起人ニ浴セカケテシマツタヤリ方デアル、會社ノ發起人等ガ其利子補給ノ請願ヲシタルト云フコトハ知ダケデハナイ、斯ノ如キ答ヲスル政府ノ裏面ハ、遂ニ此鐵道ヲ曖昧ノ中ニ葬ラヌケレドモ、會社發起人ト云フモノニ拘ラズ、必要ガアルト認ムル鐵道ナラバ政府ハ何ゼ進デ之ヲ獎勵シ交渉シテ、是ノ成立シヤウナ手數ヲ取ラナイノデアルカ、是ハ甚ダ謂レナイ答デアル、而モ此答ガ不都合デアルト云フコトハ知ガ出來ルチャナイ、斯ノ如キ答ヲスル政府ノ裏面ハ、遂ニ此鐵道ヲ曖昧ノ中ニ葬ラヌケレドモ、會社發起人ト云フモノニ拘ラズ、必要ガアルト認ムル鐵道ナラバ政府ハ何トモ其色ヲ附ケズ、其考ナシニ唯是迄怠慢ヲシテ居ラナカツタト云フコトヲ世間ニ見セビラカシタイタメニ、此會社ノ云フナラバ、斷然トヤルト云フコトヲ答ヘテ宜シイ、此答方が曖昧デアルト云フコトハ、若シソレナラバ會社ノ發起人等ガ其利子補給ノ請願ヲシタラドウスルト云フ譯デアルカ、又若シシナカツタナラバ、政府ハ棄テル積デアルカドウデアルカ、此ニ至ツテ政府ハ何トモ其色ヲ附ケズ、其考ナシニ唯是迄怠慢ヲシテ居ラナカツタト云フコトヲ世間ニ見セビラカシタイタメニ、此會社ノ發起人ガ怠慢シテ居ラヤウナ答ヘ方ヲシテ、即チ此質問ノ元ニ向ツテ、決シテ答ヲシテ居ナイ、是ハ京釜鐵道ノコトデアリマスガ、ソレカラ政ノ元來性質ト云フモノハ、ドウカト云フト、實ハ此京義鐵道ハ其重キコト決シ

テ讓ラヌ、ソレニ京義鐵道サヘ成立テバ一切宜シト云フ譯デナイ、又此地形ノ上カラ見テモ、實地上政略上ノ上カラ考ヘテモ、詰リ此朝鮮ト云フモノヲ横断スル所ノ京元鐵道、又朝鮮ノ北方カラ、大陸カラ南下シテ來ル京義鐵道ト云フ大切ナルモノハ、恰モ釜山カラ京城ニ到ルノト同ジコトデアル、此雲ウテ居ル、所ガ政府ハ唯表面上京義鐵道ト云フモノハ、是ハ近來朝鮮政府ト云フモノガ自分ノ國內ノ人デ經營サセルト云フ方針ヲ取リテ、内國鐵道會社ト云フモノニ今與ヘテ居ルト云フコトヲ答ヘテ居ル、是ハ一面皮想上カラ考ヘルト、成ル程ソレデモ宜イヤウニ考ヘラレル、全ク是ハ形式ノ上ノ面目ヲ利用シテ、其實ヲ見ナイ申譯のノ答辯デアル、何トナレバ朝鮮政府ガ今日又朝鮮人民ガ、今日自分ノ國ノ鐵道ヲ自分デ作ルト云フ力ガ何處ニ在ルカ、幾ラ搜シタツテモ左様ナ有効ナモノハアリハシナイ、今日殆ド其國ガ危イト云フ場合ニ、此鐵道ノ上ニ又殊ニ其朝鮮政府ガ、財政ガソレ自ラ立行カヌト云フ今日ノ急迫ナ場合ニ、此鐵道ヲ朝鮮內國ノ鐵道會社デ之ヲ敷設スルハ、ドウスルカト云フコトハ、夢ニモ出來ナイコトデアル、又内國鐵道會社ナルモノハ、如何ナル勢力ガアルカト云フト、何モ名ガアツテ實ハナイ、然ラバ是ガ特許ヲ得テ居ルカラト云フモノハ、何ノ役ニモ立タヌ、詰リ斯ノ如キ有名無實ナ會社ガ鐵道敷設權ヲ持ツテ居レバ、是ハ非常ニ危險ナコト、言ハナケレバナラヌ、即チ此會社ノ出來能ハザルコトヲ此際會社ニ弄バセル結果ハ、遂ニ外國人強引取シテヤツテ貴ヒタイト云フコトハ事實デアル、斯ノ如キモノニ向ツテ、必然其手ヲ著ケルコトモ幹旋ヲスルコトモセズシテ、アル、既ニ其實ヲ聞ケバ、屢々朝鮮政府ハ日本ノ手ニ之ヲヤツテ貴ヒタ、即チ其責ヲ免レントスルタメニ、所謂内國鐵道會社ガ請合ウタカラト云フ、斯ウ云フ遁ゲ所デアル、是ハ抑ニ京元鐵道京義鐵道ノ我國ニ必要デアルカラニカ、之ヲドウスルト云フ問ニ對シテハ、是モ答ヘテ居ナイ、サウシテ此モウ一箇條ハチヨンキンノ專管居留地ノコトデアル、チヨンキンニ於ケル專管居留地ト云フモノヲ何ゼ早ク確定シナイカト云フ質問デアツタガ、ソレニ對シテ政府ノ答辯ハ、明治二十九年ニ委員ヲ派出シテ、約ソ十万坪位ヲ豫定シテ居ルト云フ答デアル、是ハ何タル答デアルカ、明治二十九年ニ我國ノ委員ト清國ノ委員ガ其他色ニナコトヲ協定ヲシタラト云フコトハ、是ハ誰モ問ハクトモ分ツタ話デアル、ソレヲ問フノデハナイ、此協定ヲシテ專管居留地ヲ造ルベキ權利ヲ得テ以來、此大切ナル所ニ專管居留地ヲ設ケナイノハ、何故カト云フ問ニ對シテハ、是モ答ヘテ居ナイ、確定シテ置イテモ何デモナイ、確定シテケレバ決シテ效能ハナイ、即チ五年ノ間マルテ拋棄シテ置イタト云フコトヲ間接ニ白状シタモノデアル、而シテ終ノ阿泥沙ト云フ所ニ何ゼ正式ノ領事館ヲ置カナシカ、昨年ハ請求シテ今年ハ此豫算ニ請求ヲシナカツタハ、何デアルカ、果シテ不必要ト認メルカドウカト云フコトヲ問ウテ居ルノニ、ソレニ對シテ答ヘ

テ曰ク、昨年ハ必要ハ非常ニ必要デアルガ、昨年ハ請求ヲシタケレドモ、今年財政上ノ都合ヲ請求フシナイ、此阿泥沙、領事館ナルモノハ大金ヲ要スルモノデアルカ如何、僅ニ二万四五千圓三万圓内外ノ金デアル、一方ニハ二億万モ金ヲ募ツテ、鐵道ヲ買收スルト云フ勢ヲ持ツテ居ル政府ガ、此二万カ三万ノ領事館ヲ置クト云フ金ニ財政上ノ都合トハ何事デアル、又財政ノ都合ガ昨年ト今年ハ二万カラ三万ノ金ノ上ニドウ云フ差等ヲ生ジタコトガアルカ、是ハ甚ダ無責任ナ答辯ト言ハサルヲ得ヌ、デ斯ノ如ク申シテ見レバ、政府ト云フモノガ元來ノ此外交殊ニ又此日本ノ商工業者、此事業ノ事、貿易ノ事、總テ此日本ノ日本人ノ權利利益ニ關スル問題ニハ、餘程冷淡デアルト云フ證據ハ、自ラ明ニ分リマスガ、殊ニ此間加藤政之助君カラモ、此露領浦潮斯德近邊ニ於ケル質問が出来居ルヤウデアル、是等ノ即チ日本人人民、此營業利益上ニ關シタ問題ト云フモノヲ等閑ニ附シ去ツテ、サウシテ此人民ガ無限ノ損害ヲ受ケ又我國ノ將來發達上非常ナ損害ヲ受ケルト云フコトハ、餘程は政府ハ冷眼視シテ居ル、又此露西亞浦潮斯德或ハ、安南東京等ノ佛蘭西領邦ニ於テ、日本ノ貿易品ニシテ從來十分輸出ノ出來ヨツタモノガ、或ハ海關稅ヲ引上げラレタ、メニ、或ハ色ニナ故障規則ヲ設ケラレタメニ、日本ノ販路ノ狹メラレタルト云フノモ事實デアル、總テノ方面ニ對シテ、此政府ガ十分ニ我國ノ利益線ヲ保護シナイト云フ證據ハ、著々トシテ現レテ來ル、ソレデ實ハ我輩ノ前ノ質問ト云フモノハ、皆是ハ政府ヲ責ムルト云フ譯デハナイ、誠ニ此政府ガ外交上又日本ノ人民ノ利益線ヲ保護スル上ニ於テハ、如何ナルコトヲシテ居ルカ、ドレダケ政府ト云フモノガ、マダ進デヤラウトスレバ、余地ガアルカト云フコトヲ問ウテ、サウシテ政府ノ十分此ニ外交方針ト云フモノヲ人民ニ知ラシメル機會ヲ與ヘテ居ルノデアル、ソレハ成ル程今日マデシナカタ、怠ツテ居タト云フコトヲ免ニ角マタ今日現ニ政府ガナサナイデ居ルト云フコトヲ攻メナイ、コトヲ以テ答ヘナクトモ、十分ニ此質問ニ對シテハ間接ニ若クハ直接ニ政府ガ其外交上ニ對シテ取ル所ノ方針若クハ將來取ランツル政略ト云フモノヲ示スヤウナ機會ヲ與ヘテ、政府が成ル程今日マデシナカタ、怠ツテ居タト云フコトヲ免ニ角マタ今日現ニ政府ガナサナイデ居ルト云フコトヲ攻メナイ、

將來ニ於テ政府ハ斯ウ云フ計畫ヲ有ツテ居ル、斯ウ云フコトヲスル積デアルト云フコトデモ、政府ガアレバ尙ホ吾ミハ餘程頼母シイ政府ト考ヘルケレドモ、過去ニ於テシテ居ラズ、現在ニ於テ爲シツ、ナシ、而シテ將來ニモ尙ホ爲スト云フ氣配ガナニ、斯ウ云フコトニ至ッテハ甚ダ是ハドウモ怪マザルヲ得ヌ、而シテ此支那ノ事變ニ對スル質問ト云フモノノ、隨分氣候後レニ答辯ヲセラレテ居ル、固ヨリ斯ノ如キ事件ト云フモノハ、或ハアルコトモアレバ、ナイコトモアルガ、免角其當時ノ人心ニ非常ナ刺戟ヲ與ヘタ問題デアル、然レバルト云フニ至ツテハ、殆ド是ハ御問ヲシタ趣意ニハ決シテ適ウ居ナイ、又政府ヘセウ一應支那事件ニ附イテハ尋ネテ見タイト云フコトハ、或ハ外國ノ意向モ探ツテ知ツテ居ルケレドモ、ソレハ言レヌト云フ、探ツテ知ツテ居ルコテモ宣シイガ、即日ニ分ツニ居ルコトヲ今日態ニ之ヲ出しシテ來テ、答辯ヲスルト云フニ至ツテハ、殆ド是ハ御問ヲシタ趣意ニハ決シテ適ウ居ナイ、又政府ヘセウ一應支那ノ勢運ヲ保チ、支那ノ保全ヲ保チテ、支那ノ利益ヲ保チ、又我國ノ利益ヲ保護スル上ニ於テ、政府ノ執ルベキ方針ヲ言レヌ、隨分差支ノアルコトノヤウニモ思フガ、是ヲ以テ即チ答辯ガ出來ナイト云フナラ、是モ

宜シイ、然ルニ此支那事件ト云フモノガ起ツテ以來、日本ノ外務省ハ此北京駐箇ノ公使ニ向ツテ、何等ノ訓令ヲ下シタコトガアルカ、又此事變ニ對シテ支那政府ニ對スル我代表者タル公使ノ態度ト云フモノハ、如何ニスベキモノデアルカト云フコトノ其訓令ヲ一回出シタコトガアルカナイカト云フコトヲ聞イテ見タイ、又モ一ツハ此支那事件ノ起ツテ以來、或ハ皇帝ニ謁見ヲシタコトガアルカ、若クハ總理衙門ニ向ツテ友誼的ノ忠言デモ與ヘタト云フコトガアルカナイカ、是ハ隨分今列國ノ公使ガ或ハ謁見ヲシ又ハ清國政府ニ向ツテ忠告ヲ爲ストシタヤウナ運動ハ、今頃ボツツ現レテ居リマスルガ、兎ニ角我日本ガ此鄰國ニ臨ンデ、一回ノ友誼的ノ勤ヲ執ツテ居ラヌ、一回ノ忠言モ與ヘテ居ナイト云フコトハ、決シテアルマイト考ヘル、此際若クハ此事變後今日ニ至ルマデ、日本ノ態度ハ公使ニ向ツテ外務省ハ如何ナル訓令ヲ發シタカ、又此清國皇帝ニ對シテ或ハ謁見ヲ願ツタトカ、若クハ支那政府當局者ニ傳フル所ノモノヲ其儘ニ電報ヲシテ來タモノテアルカ、是等モ十分ニ承ツテ見タイト考ヘル、免ニ角先日ノ質問書ニ對スル甚ダ曖昧ナル答辯ノ仕方ニ對ト早イ、又其他ノ報道ナルモノモ、是ハ支那政府ガ責任アル當局者ニ就イテ、能ク其實事ヲ確メテノ報道デアルカ、將タ世間ノ風評若ハ其新聞通信者杯ノガ、此北京ヨリノ電報ナルモノハ、若クハ日ノ支那ノ官報ニ載ツタト杯ト云フコトガアル、成ル程官報ニ載ツタハ確ナコトデアリマセウ、然ルニ官報ニ載ツタモノヲ見テ直グニ報道スル位ナコトハ、是ハ新聞ノ通信員ノ方がモソシテハ、モウ一應當局者ノ明ナル答辯ヲ煩ハシタイト考ヘマスルカラ、今日はダケノコトヲ申シテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 諸君ニ御詰リスルコトガアリマスガ、鈴木重遠君ハ病氣ニ附イテ郵便法案ノ兩院協議會ノ委員ノ辭任ヲ申出デラレマシタガ、許シテ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマシテ、其補闕ニ東義徹君ヲ指名致シマス、此兩院協議會ノ委員ノ議長副議長ヲ早く選舉シマセヌト貴族院カラ協議ヲ申込マレタトキニ直グソレニ應ズルコトハ出來ヌノデアリマスルカラ、ドウゾ此兩院協議會ノ委員ハ今委員會ヲ開カレテ、議長副議長ノ選舉アランコトヲ望ンデ置キマス——委員長堀田連太郎君カラ製鋼事業獎勵ニ關スル建議案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、許シテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、宮崎榮次君カラモ豫算ノ第四分科會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス

○議長(片岡健吉君) 山本幸彦君カラ豫算ノ第三分科會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 本員モ豫算第三分科會ヲ開キタイト云フコトニ致シマスカ

○議長(片岡健吉君) 山本幸彦君カラ豫算ノ第三分科會ヲ開キタイト云フコトニ致シマス

○門馬尙經君(二百六十八番) 議長

○議長(片岡健吉君) 二百六十八番何ノ御發議デゴザイマスカ

○門馬尙經君(二百六十八番) 私ハ議長カラ政府委員ニ御注意ヲ願ヒタイコトガアリマス、其事ト云フモノハ此衆議院規則ノ第百七十三條ニ「議場ニ入ルモノハ外套傘杖ノ類ヲ携帶スヘカラス」斯ウニ云フコトガアリマス、然ルニ今日懲罰委員室ニ於キマシテ漁業法案ノ委員會ガアリマシタ、其懲罰委員室ニ而モ會議ノ最中ニ農商務ノ參事官ガ外套ト「ステッキ」ト無禮ニモ議員ノ「ティブル」ノ所ニ「ステッキ」ヲ懸ケ、外套ヲ椅子ノ上ニ脱イデアリマシタ、實ニ斯ク參事官タルモノガ、衆議院規則ノ心得ナイヤウナモノハナイ苦デアル、然ルニ何ト此規則ヲ思ウテ居ルカ、斯ク此行政官ガ、此神聖ナル議場ヲ輕ンズルヤウニナリマシテハ、實ニ衆議院ノ體面ニモ關シマスルカラ、私ハ一ノ參事官ヲ責メテ快シトスル譯デハアリマセヌケレドモ、將來ノタメニ議長カラ政府委員全般ニ斯ルコトノナイヤウニ、御注意ヲ願ウテ置キタイト思ヒマスル

○議長(片岡健吉君) 山内吉郎兵衛君

(山内吉郎兵衛君演壇ニ登ル)

○山内吉郎兵衛君(二百六十八番) 私ハ栃木外一縣ノ目今新聞紙デ追々騒イデ居リマスル鑛毒事件ニ附イテ、政府ニ質問ヲ致サウト考ヘマスル、デ此鑛毒事件ノ質問ハ田中正造君ガ年々出サレマスルカラ私ガコンナコトヲ言テ、此演壇ニ登ツタナラバ、正造君ノ養子ニデモナツタカト思ハル、カハ知レマセヌケレドモ、決シテサウデハナイノデアル、此鑛毒事件ノ問題ト申シマスルモノハ、黨派的ノ感情ヲ以テ黙過スペキモノデハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアル、考ヘテ御覽ナサイマセ、明治七年デアツカト思フガ、内地人ガ僅カ十人内外臺灣ノ内地ニ於テ殺サレタト云フニ附イテ、即チ臺灣征伐ト云フ名ノ下ニ、三千万圓ト云フ金ヲ費シテ、問罪ノ師ヲ起シタデハゴザイマセヌカ、然ルニ我帝國ノ内地ニ於テ縱令針小棒大ナリト假定致シマスルニモセヨ、年此帝國議會ニ於テ議フ經ルモノニ至シテハ、之ヲ忽諸ニ附シ去ルト云フコトハ、決シテ出來ナイモノデアラウト思フノデアル、其云フコトヤ財產ハ勿論ノコト、生命ニモ關スルト云ウテ騒イデ居ルノデアル、斯ノ如キ事件ニ對シテハ、政府ハ如何ナル方針ヲ採ツテ居ルモノデアルカト云フコトガ、尋ねタインデアル、ソレカラ第二ニハ一個ノ營業者ガ致シマスル所ノ營業デアリト雖モ、此鑛業事件ノ如キハ國家ニ利益ノアルモノデアルカラシテ、縱令一部人民ノ如何ナル悲慘ナル所ノ害ヲ被ルトモ、決シテ是ト比較スペキモノデハナイト云フ考ガアルカハ知ラヌノデアル、併ナガラ若シスノ如ク國家ニ大ナル利益ヲ與ヘル所ノ鑛業デアルナラバ、其鑛業ノ利益ヲ以テ何ガ故ニ各地方ノ人民ガ被害、害ヲ受ケルト云フコトニ附イテハ、政府ハ相當ノ處置ヲ爲サネバナラヌ義務ガアルト思フノデアル、然ルニモ拘ラズ今日マデ之ヲ捨置クト云フコトニ至シテハ、甚ダ怪シム次第デアル、然レドモ此事ニ附イテハ、イヤ、彼ノヤウニ新聞デ騒イデハ居ルケレドモガ、決シテ是ハ針小棒大ナコトデアル、取ルニ足ラナイコトデアルト云ウテ之ヲ忽諸ニ附シ去ルヤウナ感情ガアルカハ知リマセヌケレドモ、既ニ昨年モ貴衆兩院ノ議ヲ經テ、之ガ通過ヲ致シテ居ルノデアル、然ルニモ拘ラズ、本年ニ至ルマデ何トモ其處置ヲ爲サズ、況ヤ此節ニテハ彼ノ地方人民ハ警察官ノタメニ或ハ殺生セラレタト云フコトヲモ承フテ居ル、デ斯ノ如キ次第ニアルニモ拘ラズ、帝國議會が通過致シテ居ル議ニ向

○門馬尙經君(二百六十八番) 議長

○議長(片岡健吉君) 二百六十八番何ノ御發議デゴザイマスカ

○門馬尙經君(二百六十八番) 私ハ議長カラ政府委員ニ御注意ヲ願ヒタイコトガアリマス、其事ト云フモノハ此衆議院規則ノ第百七十三條ニ「議場ニ入ルモノハ外套傘杖ノ類ヲ携帶スヘカラス」斯ウニ云フコトガアリマス、然ルニ今日懲罰委員室ニ於キマシテ漁業法案ノ委員會ガアリマシタ、其懲罰委員室ニ而モ會議ノ最中ニ農商務ノ參事官ガ外套ト「ステッキ」ト無禮ニモ議員ノ「ティブル」ノ所ニ「ステッキ」ヲ懸ケ、外套ヲ椅子ノ上ニ脱イデアリマシタ、實ニ斯ク參事官タルモノガ、衆議院規則ノ心得ナイヤウナモノハナイ苦デアル、然ルニ何ト此規則ヲ思ウテ居ルカ、斯ク此行政官ガ、此神聖ナル議場ヲ輕ンズルヤウニナリマシテハ、實ニ衆議院ノ體面ニモ關シマスルカラ、私ハ一ノ參事官ヲ責メテ快シトスル譯デハアリマセヌケレドモ、將來ノタメニ議長カラ政府委員全般ニ斯ルコトノナイヤウニ、御注意ヲ願ウテ置キタイト思ヒマスル

○議長(片岡健吉君) 山内吉郎兵衛君

(山内吉郎兵衛君演壇ニ登ル)

○山内吉郎兵衛君(二百六十八番) 私ハ栃木外一縣ノ目今新聞紙デ追々騒イデ居リマスル鑛毒事件ニ附イテ、政府ニ質問ヲ致サウト考ヘマスル、デ此鑛毒事件ノ質問ハ田中正造君ガ年々出サレマスルカラ私ガコンナコトヲ言テ、此演壇ニ登ツタナラバ、正造君ノ養子ニデモナツタカト思ハル、カハ知レマセヌケレドモ、決シテサウデハナイノデアル、此鑛毒事件ノ問題ト申シマスルモノハ、黨派的ノ感情ヲ以テ黙過スペキモノデハナイト私ハ考ヘテ居ルノデアル、考ヘテ御覽ナサイマセ、明治七年デアツカト思フガ、内地人ガ僅カ十人内外臺灣ノ内地ニ於テ殺サレタト云フニ附イテ、即チ臺灣征伐ト云フ名ノ下ニ、三千万圓ト云フ金ヲ費シテ、問罪ノ師ヲ起シタデハゴザイマセヌカ、然ルニ我帝國ノ内地ニ於テ縱令針小棒大ナリト假定致シマスルニモセヨ、年此帝國議會ニ於テ議フ經ルモノニ至シテハ、之ヲ忽諸ニ附シ去ルト云フコトハ、決シテ出來ナイモノデアラウト思フノデアル、其云フコトヤ財產ハ勿論ノコト、生命ニモ關スルト云ウテ騒イデ居ルノデアル、斯ノ如キ事件ニ對シテハ、政府ハ如何ナル方針ヲ採ツテ居ルモノデアルカト云フコトガ、尋ねタインデアル、ソレカラ第二ニハ一個ノ營業者ガ致シマスル所ノ營業デアリト雖モ、此鑛業事件ノ如キハ國家ニ利益ノアルモノデアルカラシテ、縱令一部人民ノ如何ナル悲慘ナル所ノ害ヲ被ルトモ、決シテ是ト比較スペキモノデハナイト云フ考ガアルカハ知ラヌノデアル、併ナガラ若シスノ如ク國家ニ大ナル利益ヲ與ヘル所ノ鑛業デアルナラバ、其鑛業ノ利益ヲ以テ何ガ故ニ各地方ノ人民ガ被害、害ヲ受ケルト云フコトニ附イテハ、政府ハ相當ノ處置ヲ爲サネバナラヌ義務ガアルト思フノデアル、然ルニモ拘ラズ今日マデ之ヲ捨置クト云フコトニ至シテハ、甚ダ怪シム次第デアル、然レドモ此事ニ附イテハ、イヤ、彼ノヤウニ新聞デ騒イデハ居ルケレドモガ、決シテ是ハ針小棒大ナコトデアル、取ルニ足ラナイコトデアルト云ウテ之ヲ忽諸ニ附シ去ルヤウナ感情ガアルカハ知リマセヌケレドモ、既ニ昨年モ貴衆兩院ノ議ヲ經テ、之ガ通過ヲ致シテ居ルノデアル、然ルニモ拘ラズ、本年ニ至ルマデ何トモ其處置ヲ爲サズ、況ヤ此節ニテハ彼ノ地方人民ハ警察官ノタメニ或ハ殺生セラレタト云フコトヲモ承フテ居ル、デ斯ノ如キ次第ニアルニモ拘ラズ、帝國議會が通過致シテ居ル議ニ向

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名致シテ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガアリマセヌケレバ議事日程第一特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程ニ移リマス、議事日程第一日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

○議長(片岡健吉君) 第三十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

○日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會

○日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名致シテ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガアリマセヌケレバ議事日程第一特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 第三十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

○日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會

○日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名致シテ御異議アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 格別御質問ガアリマセヌケレバ議事日程第一特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 第三十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

○日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會

○日本勸業銀行法中改正法律案第一讀會

○議長(片岡健吉君) 今指名致シマシタ委員ノ諸君ハ、ドウゾ直グ委員長理

第三 明治三十年法律第三十九號中改正

第一讀會ノ續(委員長)

少數案ガ、木村格之輔君演壇ニ登ル。爲ヲナシタルモノヲ處罰シ三百圓以下ノ罰金ニ處ス。ノ下へ附キマスノデゴ

○濱名信平君(二百四十三番) 明治三十年法律第三十九號中改正法律案、是ハ昨日委員長理事ヲ選舉致シマシテ、直ニ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、第一條ノ中デ其行

此法案ハ諸君ノ御承知ノ通昨年發布セラレタ所ノ土地整理法施行ノ際ニ於キマシテ、追々必要ヲ見ルト云フヤウナ事情ニ至リマシテ、發布セラレタコト

デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ詳細ニ政府委員ノ說明ヲ開キ、此事項ノ各項共ニ必要ナルコトヲ認メテ、本案ノ可決スベキモノト全會一致ヲ以テ可決致シマシテゴザイマス、御報告ヲ致シマス。

○恆松隆慶君(百四十二番) 此案ハ最モ必要デゴザイマスカラ、ドウカ讀會省略ヲ以テ直ニ確定ニナランコトヲ

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ讀會省略ニ御異議アリマセヌカ(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ讀會省略シテ直ニ議事ニ付シマス、(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ讀會ヲ省略シテ直ニ議事ニ付シマス、(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 漢名信平君ノ報告——濱名信平君

明治三十年法律第三十九號中改正法律案
法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關スル法律
シ事犯アリタル場合ニ關スル法律
第一讀會ノ續(委員長)

確定議

(濱名信平君演壇ニ登ル)
○濱名信平君(二百四十二番) 此法案ハ前回報告致シマシタ同一ノ委員ニ依託ニナリマシテ、矢張昨日審議ヲ遂ゲマシテゴザイマス、第一ニ本案ノ發布ノ理由ニ附キマシテ、政府委員ノ説明ヲ詳ニ求メタコトアリマス、ソレカラ第二ニ貴族院ニ於テ修正シマシタ所ノ趣意ニ附イテハ、政府委員ハ如何ナル意見ヲ持テ居ルカト云フコトヲ尋ねマシタ所ガ、此政府委員ニ於キマシテノ答辯ハ、貴族院ノ修正ニ附キマシテハ今日ニ於ケル場合ニ於テハ、敢テ反對ハ致サヌ、貴族院ノ修正通差支ナイト云フ意見ヲ執テ居ラレマスル、此二ツノ答辯ヲ得マシテ、後ニ委員ノ討論會ヲ開キマシテゴザイマスルガ、此法案ニ附キマシテハ一ツノ動議ガ出テ居リマス、一體此法人ノ所謂無形ノ法人ノ身ニ刑罰ヲ加フルト云フコトハ、甚ダ宣シクナイ、必ヤ此法人ト云フモノニ附イテハ、會社或ハ又其他從業者ト云フモノニ附イテハ、擔當シテハ、刑務ヲ執ル者ガナケレバナラヌコトデアルカラ、若シ法人其他ノ營業者ニシテ犯則ノ場合ガアツタナラバ、必ず其法人ニシマシテ所謂會社ニシマスレバ、重役取締役デアル、或ハ頭取デアルトカ云フヤウナモノヲ罰スルト云フコトガ當然デアル、然ルニ唯法人ノ身ヲ罰スルト云フヤウナコトニスルノハ、刑罰ヲ科スル所ノ原則ニモ背クコトデアルカラ、甚ダ宜シクナイ、寧ロ政府案ノ元ノ儘ガ至當ノコトデアラウト思フ、併ナガラ貴族院ノ修正ガ斯ウ致サレ、又政府ニ於テ之ニ反対ハナイト云フ以上ハ、別ニ之ニツ修正シナケレバナラスト云フ一つノ動議ガ起キマシテ、即チ此少數意見トシテ現レマシタ所ノ

○議長(片岡健吉君) 木村格之輔君演壇ニ登ル。(木村格之輔君演壇ニ登ル)
○木村格之輔君(百七十三番) 諸君、本員ハ少數者ヲ代表致シマシテ、少數ノ意見ヲ諸君ノ面前ニ提出致シマス、元ト政府ノ案ニ依リマスルト、體刑ヲ科スル場合ニハ、現ニ其行爲ヲ爲シタル人ヲ罰スルト云フコトニ規定セラレテアルノデアリマス、是ハ尤ナ規定デアルデ、此三十年ノ法律第二十一號ノ國稅徵收法ニ依リマスルト、此租稅ノ代表者ニ對シテ體刑ヲ科スルト云フ場合ハ、僅カ一箇條ホカナイノデアリマス、即チ第三十二條デ罰スル法文ヲ設ケテアルノデ、其三十二條ヲ讀ミマスルト、斯ウアリマス、滯納者又ハ滯納者ノ財產ヲ藏匿脱漏シ又ハ虛偽ノ契約ヲナシタルトキハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス、是ノミガ罰スルト、體刑ヲ科スルト云フ法文ニナッテ居リマセウ、要スルニ政府案トシテ出シタ此末段々體刑ヲ科スヘキ場合ニアツテハ前項ノ規定ヲ適用セス其行爲ヲナシタル者ノミヲ處罰ス、ト政府が審議ノ上ニ此案ヲ提出セラレタノデアリマス、然ルニ貴族院ハ之ヲ全部破棄致シマシテ、法人ニ限リテハ滯納處分ノ場合ニ徵收法ノ第三十二條ノ如ク體刑ヲ科スル場合ガアルニモ拘ラズ、法人ニ限リテハ三百圓以下ノ罰金ニ處シテ體刑ハ科サナイト云フコトニシテアル、實ニ此修正ハ其當ヲ得ザル修正デアルト本員等ハ信ズルノデアリマス、凡ソ國民トシテ法人デアルカラ、惡所爲ヲ爲シテモ體刑ヲ科サナイト云フガ如キハ、道理ニ背イテ居ルノデアル、縱令法

人ト雖モ惡所爲ヲ爲シタル時分ニハ、矢張一般人民ト同シク刑ヲ科スベキガ至當ノコト、信ズルノデアリマス、蓋シ政府が此案ヲ發セラレタ意モ是ニ外ナラナイデアラウト考ヘルノミナラズ、政府モ其通デアルト答辯セラレ居ルデ斯ウ云フ不都合ヲ來スノデアラウト思レル、法人ハ株式會社扱ガ租稅ヲ納ムル場合ニ、國家ニ損害ヲ掛けノ目的ヲ以テ其財產ヲ藏匿シタ、又ハ脫漏シテ、或ハ虛偽ノ負債ヲ設ケテ、其財政ヲ滅ラスト云フ場合ニ何人ガスルカト云ヘバ、會社ヲ代表スル即チ取締役デナケレバ、斯ウ云フコトハ出來ナインデアル、現ニ取締ト云フ役人ガ、サウ云フ惡所爲、即チ破廉耻ノ罪ヲ犯シテモ、會社ニ居ルガ故ニ、此者ニハ體刑ヲ科サナイデ、罰金ヲ科ス、一般ノ人民ハ會社デナイガ故ニ、斯ウ云フ惡所爲ヲ爲シタル時分ニハ、一月以上ニ重禁錮ニ處セラル、ト云フタナラバ、實ニ不都合ナ結果デアラウト思レル、會社ト云フ役人ノタメニ體刑ヲ科セラレナイ、一ツハ一般人民デアルカラ體刑ヲ科セラル、ト云フガ如キハ、實ニ法律ノ平衡ヲ失シタコトデアラウト信ズルノデアリマス、又茲ニ一ツノ不都合ヲ考ヘラレルノハ、徵收法ノ三十二條ハ、此藏匿脱漏ヲスル場合ニ共謀シタ人ハ會社以外ノ人ハ、此人ハ矢張三十二條ニ依リテ一般ノ人民ト同シ重禁錮ノ刑ニ處セラル、ノデアル、同ジ共謀者ノ會社ノ役人タルノ故ヲ以テ、其者ダケハ破廉恥ノ刑ハ遁レルト云フガ如キハ、實ニ不都合千萬ノコトデアラウト思レマス、段々政委員ニモ此邊ヲ問ヒマシタ所ガ、政府モ立案ノ趣意ニ副フノデアルカラ、適

當ナコト、ハ信マルト明言シテ居ル、デ要スルニ貴族院ノ修正ニ同意スルト
云フノハ、會期切迫ノ今日デアルカラ、若シヤ捫著ガ起キタナラバ、此案ノ
通過ニ影響ガアリハセヌカト云フコトヲ心配スルニ過ギナノデアル、縱令
會期ノ切迫ノ場合ト雖モ國民ガ一般遵守スベキ法律ノ上ニ於テ、法人ハ特別
ノ法律ニ處セラレル、又ハ一般人民ハ特別ノ法律ヲ以テ處罰セラレルガ如キ
ハ立法部トシテ是ヲ看過スルコトハ出來ナイモノト信ズル、故ニ本員等ノ少
數意見ニ御賛同アランコトヲ希望致シマス
○恵松隆慶君(百四十二番) 成ル程木村君ノ少數意見ハ御尤ノヤウデアリマ
スガ併シ此場合ハドウカ御撤回ニナクテハ如何デス、既ニ電信法案中ノ四
十二條ニ於キマシテ、是ハ貴族院ノ修正が即チ法人三百圓以下ノ罰金ニ處ス
ト云フコトガ、昨日貴族院ノ修正說ニ満場一致ヲ以テ同意シタ、一方デハ同
意シテ、一方ハ同意シナシト云フ、片々ノコトガアッテハ、甚ダ不完全ト思
ヒマスカラ、男ラシク御撤回ニナクテハ如何デス
○木村格之輔君(百七十二番) 折角ノ御注意デアリマスカラ撤回ハ致シマセヌ
部ガ捨ヘルコトハ、本員ノ好マザル所ニアリマスカラ撤回ハ致シマセヌ
全部ヲ議題ニ供シマス
(採決タリト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決致シマス
○恵松隆慶君(百四十二番) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シタ
○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開クコトニ致シマス、
全部ヲ議題ニ供シマス
○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決致シマス
○議長(片岡健吉君) 少數意見ニ定規ノ贊成ガアリマスカ
○議長(片岡健吉君) 少數意見ニ定規ノ贊成ガアルト認メマス、木村格之輔君其他ノ少
數意見ヨリ採決致シマス、今ノ木村格之輔君ノ少數意見ニ同意ノ諸君ノ起立
ヲ起ヒマス
起立者 少數
○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、委員長ノ報告通ニ御異議ハアリマセ
ヌカ
(異議ナシ異議ナント呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス
○恵松隆慶君(百四十二番) 直チニ確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ガナケレバ其通ニ致
シマス、二讀會決議ノ通御異議ハアリマセヌカ
法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場 第二讀會
合ニ關スル法律案

○議長(片岡健吉君) 少數意見ニ定規ノ贊成ガアルト認メマス
○議長(片岡健吉君) 定規ノ贊成ガアルト認メマス、木村格之輔君其他ノ少
數意見ヨリ採決致シマス、今ノ木村格之輔君ノ少數意見ニ同意ノ諸君ノ起立
ヲ起ヒマス
起立者 少數
○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、委員長ノ報告通ニ御異議ハアリマセ
ヌカ
(異議ナシ異議ナント呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス
○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クコトヲ望ミマス
○議長(片岡健吉君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ガナケレバ其通ニ致
シマス、二讀會決議ノ通御異議ハアリマセヌカ
法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場 第二讀會
合ニ關スル法律案

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス——議事日程第五、水
難救護法中改正法律案第一讀會

第五 水難救護法中改正法律案
(名提出) 水難救護法中改正法律案

水難救護法中左ノ通改正ス

第二十四條第一項但書ヲ左ノ如ク改ム
但シ物件ノ所有者分明ナル場合ニ於テハ第二十四條第一項但書ノ期限内
ニ限リ假ニ拾得者ヲシテ其ノ保管ヲ爲サシメ所有者ヨリ引渡ノ請求アリ
タルトキハ直ニ其ノ物件ノ引渡ヲ爲スヘシ
第三十條ヲ第三十條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第三十一條ノ二 風雨、出水其ノ他不時ノ災厄ニ因リ漂流シタル材木ノ
拾得ハ左ノ各項ニ該當スル場合ヲ除クノ外第二十四條乃至第三十條ノ
規定ヲ適用ス
一 漂流材木拾得ニ關スル報酬ハ左ノ區別ニ依リ支給ス
一 河川ニ在リテハ其ノ價額十五分ノ一以内
一 湖海ニ在リテハ其ノ價額十分ノ一以内
二 判決、極印具ノ他記號ナキ同一若ハ類似ノ物件ニ對シ二人以上ノ所
有者ヨリ各其ノ引渡ヲ請求シタル場合ニ於テ特ニ其ノ所有者ノ分明
シ難キトキハ市町村長ハ各所有者ノ當初流失シタル届出若ハ他ノ方
法ニ依リ證明シタル數額ノ割合ニ準シ分割引渡ヲ爲スヘシ但シ此場
合ニ於テ各所有者ハ其ノ協議ヲ以テ全部ノ引渡ヲ受ケタル後任意分
割ヲ爲スコト得
三 前項ノ場合ニ於テ他ニ同様ノ届出アルカ又ハ他日更ニ所有者ノ發見
スヘキコトヲ認メ直ニ引渡スヘカラサルモノアルトキハ市町村長ハ
第二十七條ノ期間満了スル迄其ノ引渡ヲ遲延スルコトヲ得
四 箱組若ハ船積ノ材木ニシテ現ニ遭難中ニ在ルモノハ總テ第一章ノ規
定ヲ適用ス
第三十五條ヲ第三十五條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ
第三十五條ノ二 漂流ノ物件ニ對シ現存スル記號ヲ塗抹毀損シ若ハ新ニ
附記押捺シタルモノハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
○永井嘉六郎君(七十二番) 單純ナモノデゴザイマスカラ、此席デ申上ゲマ
ス、法律第九十五號水難救護法中ノ極一部ヲ改正致シタインデアリマス、ソ
レハ何川ノ漂流物ニ關シタダケデゴザイマス、何分現行法デハ河川漂流物ノ
保護が出來マセヌノデアリマス、故ニ此二十四條其他ヲ改正致シマシテ、三
日以内ニ於テ漂流物ヲ渡スト云フノヲ十日以内ト云フコトニシ、其他河川ニ
關シマシテ十分ノ一トアリマシタノヲ十五分ノ一以内ト云フコトニ改メタイ
ト云フ、極單純ナル修正案デゴザイマス、ドウカ委員ニ付セラレマシテ、御
審議アランコトヲ望ミマス
(賛成タリト呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 本案ニ附イテハ、九名ノ特別委員が議長ガ指名シテ御
異議ハアリマセヌカ
(異議ナント呼フ者アリ)
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス議事日程第六、府縣
農事試驗場國庫補助法中改正法律案、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマシス

第六

府縣農事試驗場國庫補助法中改正法律案
(稻垣示君提出)

第一讀會

府縣農事試驗場國庫補助法中改正法律案
第七條中「府縣農事講習所規程」ノ下ニ「府縣蠶業試驗場規程、府縣蠶業講習所規程」ヲ加ヘ「府縣農事講習所」ノ下ニ「府縣蠶業試驗場、府縣蠶業講習所」ヲ加フ

○稻垣示君演壇ニ登ル
(稻垣示君演壇ニ登ル)

○稻垣示君(百一番)此改正ヲシヤウト云フ案ハ、極簡單ナモノデゴザイマ

シテ、諸君モ御承知ノ如ク昨年ノ法律第百二號ヲ以テ農事試驗場國庫補助法律案ガ發布ニナリマシタ、此案中ヘ此蠶業試驗場及蠶業講習所ノ項目ヲ加ヘテ欲シイト云フ趣旨デアリマス、此一府縣ニ一箇所ナラズ補助スルコトガ出

來ヌ規程ニナラテ居リマスマニ、蠶業上ニ關スル蠶業講習所蠶業傳習場ノ二ツヲ補助ヲ與ヘテ貰ヒタクテモ、與ヘルコトガ出來ヌ、狹隘ニナラテ居リマス、ソ此項目ヲ加ヘタラ蠶業上ニ關スル現在存スル所、又與ヘル所、置クベキ所ガ

全府縣中二十餘箇所ゴザイマス、此外ニ設立シヤウト云フ所ガアリマス、又發達サセル蠶業上ノ利益ト云フモノハ、多大ナルモノデアリマス、此事ニ附キマシテハ政府ニ於テモ満足ニ思フ所デアルト私ハ考ヘテ居ル、又ソレニ相違ナイト信ジマスル、ドウゾ御贊同アランコトヲ希望致シマス就キマシテハ、

此箇條ノ文句ハ御回シ申シマシタ所ノ第七條中府縣農事講習所規程ノ下ニ府縣蠶業試驗場規程、其後トヘ府縣蠶業講習所規程」是ダケヲ加ヘタイト云フ簡単ナ趣意デゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 恒松隆慶君ノ動議ノ通九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決レマス、議事日程第七舊神官配當祿處分法案第一讀會ノ續、委員長報告

第七

舊神官配當祿處分法案(松島廉作

第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

(君外一名提出)

○稻垣示君(百一番)此舊神官配當祿處分法案ノ委員會ノ報告ハ、松島廉作君ニ譲リマス、就キマンテハ是ヨリ賣藥印紙稅規則廢止法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 委員長稻垣示君カラ賣藥印紙稅規則廢止法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 然ラバ許スコトニ致シマス
(松島廉作君演壇ニ登ル)

○松島廉作君(百五十番) 委員長ノ都合ニ依テ私ヨリ御報告致シマス、此委員會ハ前後二回開會致シマシテ、御手許ヘ回テ居リマス案ノ如ク修正ヲ致シマシタノハ、ドウ云フ譯デアルカト申シマスルト、此委員會ニ於キマシテ問題トナリマシタ事柄ハ、大要一點デゴザイマス、第一ハドウ云フコトデアタカト申シマスルト、明治十年太政官布告第三十二號ヲ以テ幕府ヨリ寄附サレマシタ社領ヨリ配當ヲ受ケテ居リマシタモノハ、配當祿公債證書ト云

フモノヲ給與サレマシタガ、各藩ヨリ寄附サレテ居リマス所ヘ社領ヨリ配當ヲ受ケテ居リマス者ハ、實際給與サレテ居ル、其給與ニシナカツタト云フハ

ドウ云フ譯デアルカト云フ事柄ガ、第一ノ疑問デアリマシタ、所デ政府委員ハ之ニ對シテ斯様ニ答ヘテ居リマス、幕府ヨリ寄附シテアル社領ヲ上地セシメ

タノハ、御承知ノ如ク明治三年十一月ノ布告ニ依テ上地セラレタモノデアルカラ、是ヨリ配當ヲ受ケテ居タルモノヲ何トカシテヤラケレバナラスト云

フコトハ、政府ガ直接ニ責任ヲ持テ居ル事柄デアル、併ナガラ各藩主ヨリ寄附サレテ居タル其社領ヨリ配當ヲ受ケテ居タルモノハ、是ハ藩籍奉還スル

ト云フトキニ於テ、社領ガ政府ニ奉還ヲサレタノデアツテ、最早其藩主ニ對シテ相當ノコトガ致シテアル以上ハ、ソレヨリ配當ヲ受ケテ居ル神官ニ給與スル譯ハナイ、左様ナ責任ヲ持テ居ラナイ、斯ウ云フ主意デアリマス、ソレナラバ各藩主ヨリ給與サレテ居ルモノハ、士族ニ祿ヲ與ヘタト云フノハドウ云フ譯デアルカト質問ヲ致シタラバ、ソレハ違フ、士族ト云フモノハ護國ノ職ヲ帶ビテ居ル者デアツテ、舊神官ト云フモノハ、唯信仰上其神社ニ仕ヘテシタラバ、安藝國嚴島神社ノ如キモノガ、現在淺野家ヨリ寄附サレテ居ルト地シタ所ニハ與ヘル與ヘナイト云フ、其頃區別ヲ以テシタコトモアル位デアルカラ、ソレハ違フ、斯様ナ結局答辯ナノデアリマス、併ナガラ是ハ各

シテ、ソレガタメニ一切給與ヲセント云フコトハ、甚ダ謂レナイコトデア

ル、殊ニ其舊領主ヨリ給與ヲサレテ居タルトハ申シナガラ、古イモノニ至リタニ過ギヌト云フコトデアリマス、然ルヲ其藩主ガ封土ヲ奉還シタカラ、ソ

シテナラバ、安藝國嚴島神社ノ如キモノガ、現在淺野家ヨリ寄附サレテ居ルト云フコトニナラバ、其神官ノ訴フル所ニ依テ見マスト、古クヘ

大内毛利ノ頃ヨリ與ヘラレテ居タルソレヨリ代々ノ領主ハソレヲ認メテ居タルニ過ギヌト云フコトニ致シマシテアリマス、ソレカラモウ一ツ委員會ノ

問題ト爲テ居リマスルモノハ、然ラバ明治三年十二月上地ヲシタ朱印、黑印、

云フコトニナラバ、其神官ノ社領ヨリ配當ヲ受ケテ居タル如ク修正ヲ致シマシテ、與フベキコトニ致シマシテアリマス、ソレカラモウ一ツ委員會ノ

斯様ナ譯デ委員會ニ於キマシタノデアリマス、ソレカラモウ一ツ委員會ノ

レニ對シテ給與フル責任ハナイト云フコトハ、甚ダ酷ニ失スルノデアルト

ハ如何ニスルゾト申シマシタラ、政府ハ矢張是モ給與ヲシナイト答ヘテ居リマス、給與ヲスベキモノデナイト答ヘテ居ル、ソレハドウ譯デアルカト申ス

ト、是ハ又少シ理由ガ違フノデアリマス、即チ神官ノ配當祿ト云フモノハ祿

デナイン、唯其職務ニ對シタ時ノ報酬デアル、士族ノ如キモノハ世祿アルガ、神官ノ社領ヨリ配當ヲ受ケテ居タルト云フモノハ、報酬ニ過ギナイモノ

デアルカラ、ソレ故ニ其頃ニ於テ一時ノ給與ヲシタガ、要スルニソレハ祿ト

認メテヤツタ譯デナイン、唯一時ノ救濟ニ過ギナイノデアルカラ、其事柄ノ既ニ濟シダ後ニ於テ、縱令與フベキモノハアツテ間違ニナラバ、居テモ、今ニ於テソレヲ改ムベキモノデナイン、士族ノ祿トハ性質ヲ異ニシテ居ルモノデアルカラト、斯ウ云フコトデアリマシタ、併ナガラ委員會ニ於キマシテハ、是モ亦モ甚ダ無理ナル答辯デアルト、斯様ニ認メタノデアリマス、ソレハ何ゼニアリマスカラバ、若シ舊神官ノ配當ヲ得テ居リマシタモノヲ以テ、其神社ニ仕ヘテ居タル一年々々ノ報酬デアルト云フ譯デアリマシタナラバ、矢

張士族ガ其藩主ヨリ得テ居リマシタ祿ト云フモノモ、矢張其一年々々ノ報酬ト申サナケレバナラヌ、中上グマスマデモナタ、此頃ハ皆其職ヲ

世ニニシテ居リマシタタメニ、其報酬ト云フガ如キモノハ、一變シテ皆世祿ノ形ヲナシテ居ルノデアリマス、故ニ其神社ヨリ配當ヲ受ケテ居リマシタ上ヨリ申シマスレバ、決シテ是ハ祿デナイトハ申サレヌノデアリマス、加之縱シソレハ祿ト解釋スペキモノデナイト致シマシテモ、同ジヤウニ與フベキ咎ニナツテ居リマスモノ、其時ノ給與ニ漏レマシタ所ガアリマスレバ、是ハドウシテモ訂正シテヤラナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フ譯デ委員會ニ於キマシテハ、是モ亦訂正ラシテ與フベキモノデアルト云フ精神カラ御手許ニ回ツテ居リマス案ノ如ク、其修正ヲ致シマシタノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ問題ト爲リ、且ツ修正ヲ致シマシタ理由ハ、申上グマスル二ツノ理由ニ依リマシタコトデアリマシテ、委員會ハ此修正案ノ如クニ決シマシタノデアリマス、所デ私ハ此案ノ提出者デアリマスカラ、聊カ此案ヲ賛成致シマスル趣意ヲ併セテ述ベテ置キマセウト考ヘマス、此案ハ御承知ノ如ク數年來士族ノ復祿請願ト云フモノガ當院ニ年々歲々出テ參ル中ニ、矢張舊神官ノ復祿ノ請願ガアツタノデアリマス、ソレニ依テ段々調査ヲ加ヘテ見マスト、矢張士族ト同ジヤウナ坂ニナツテ居リマス、大抵ハ士族ノ處置ガ定リマスト、神官ノ處置モ從ツテ定ツテ來ルト云フ譯ニナツテ居リマス、即チ各藩ガ封土ヲ奉還致シマスト、次テ社寺ニハ矢張上地ヲ命ぜラレテ居ル、ソレカラシテ士族ノ金祿公債證書ヲ與フルト云フコトニナリマスト、先刻モ申シマス如ク、明治十年ノ太政官第三十二號ノ布告ニ依シテ、矢張配當祿ヲ與ヘテ居リマシタ、唯今デコソ政府ガ是ハ祿デナイ、問達ガアツテ改メルベキモノデナイト申シテ又配當祿公債證書ト既ニ云ツテ居リマスノデアリマスカラ、今ニ至ツテ祿デアルナイト云フコトヲ争ヒマスハ、誠ニ謂レナイコトデアルト思ヒマス、而シテ是等ノ人々ガ實ハ此名稱ガ既ニ神官ト云ツテスラ、古メカシイコトヲ意味シテ居リマス上ニ、尙ホ舊神官ト云フノデアリマスカラ、之ヲ提出シマスコトハ迷惑ヲ致シマス譯デアリマス、ソレデ段々調べテ見マスルト、如何ニモ舊神官ト云フモノニ對シテ一切給與セヌト云フノハ、謂レナキコトデアル、尙ホ復祿ニ對シテ帝國議會ガ一切救濟ノ途ヲ與ヘヌト云フノナラ已ムヲ得マセヌガ、既ニ法律第五十號ヲ制定シ千萬圓ト云フ整理公債ヲ發行シテモ、此間違フ正シテヤルト云フノデアリマスカラ、前ニ同一ノ坂ヲシタ舊神官ニハ、錯誤ガアツテモ之ヲ改メナイト云フノハ、給與ノ上ニ於テモ公平ヲ得ナイト考ヘマスカラ、年々此案ヲ提出致シテ居ラレマス

○議長(片岡健吉君) 松島君ハ本案提出ノトキニ其理由ヲ述ベテ居ラレマス

○松島廉作君(百五十番) ハイ

○議長(片岡健吉君) 先キニ述ベラレテ居ル提出ノ理由ヲ茲ニ述ベラレテハナリマセヌ、委員會ノ報告ダケヲナサルヤウニシテ:

○松島廉作君(百五十番) 右申述ベタヤウナ譯デアリマスカラ、願ハクハ此案ニ御賛成アランコトヲ願ヒマス

○橋元易君(四十八番) チヨツト委員長ニ同イタ、此社領上地ト云フハ、神社ハ元ト舊藩主ナリ、其他カヲ下サクタモノガアツタカモ知レマセヌガ、神官ト云フモノニ吳レテアツタコトガアツタノデスカ、社領ト云フノハ神社ニ吳レテアツタモノト思ヒマスガ、如何デスカ

○松島廉作君(百五十番) 無論舊神官ニ與ヘタルモノガアルノデス、凡ツ社領ノ中ニ斯ウナツテ居リマス、朱印若クハ黒印ノ例ヲ申シマスガ、何程ガ神官ト云フコトニナツテ居リマス、其區別ノナインガアルガ、實際ハ

其通ニシテ來タト云フコトデアル、明治十年太政官ノ第三十二號ノ布告ノ出タトキニ、大藏省カラ調査ノ規則ガ出タトキニモ、其事ハ明ニ示シテアリマス、ソレハ社費ト配當トノ明ナラザル分ハ、收額ノ三分ノ一ヲ以テ社費トシ三分ノ二ヲ以テ配當トシテ給與スペシト云フコトガ明ニ書イテアリマス、故ニ此委員會ニ於テモソレラ實施シテ居ルヤ否ヤ、今日モマタ存シテ居ラルノデアリマスカラ、朱印黒印ノ上ニ明ニ書上ゲテナイデモ、神社ニノミヤツタノデナイカラ、神官ニ與ヘタト云フコトハ申サヌコトニナツテ居リマス

○議長(片岡健吉君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本案第二讀會ヲ開クニ御同意ノ諸君ハ起立

○議長(片岡健吉君) 少數ト認メマス、本案第二讀會ハ開カザルコトニ決シマス、委員長新井章吾君ヨリ舊琉球藩吏役俸處分法案ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデコザイマスガ、許シテ差支アリマセヌカ

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケバ、許スコトニ致シマス

○恆松隆慶君(百四十九番) 日程ノ第八、第九ハ同一委員デアリマスカラ、一括シテ議題トセラレントコト願ヒマス

○新井章吾君(三十二番) 舊琉球藩吏役俸ノ委員諸君ハ委員室ニ御出ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 西川卯吉郎君ヨリ請願委員會ヲ開キタイト云フコトデゴザイマスガ、許シテ差支アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケバ、許スコトニ致シマス

○西川卯吉郎君(二百五番) 請願ノ分科會ヲ開キタウゴザイマスカラ、御許可願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第八、市制中改正法律案第一讀會ノ續、鈴木總兵衛君

○議長(片岡健吉君) 西川卯吉郎君ヨリ請願委員會ヲ開キタイト云フコトデゴザイマスガ、許シテ差支アリマセヌカ

○鈴木總兵衛君(九十六番) 市制中改正法律案及市制町村制中改正法律案ノ二案ヲバ御付託ニナリマシテ、此委員會ノ經過ヲ報告致シマス、報告書ハ御手許ニ配付シテ置キマシタガ活版ニ誤植ガアリマスカラ

○御訂正ヲ願ヒマス、市制中改正法律案ノ「第百條削除」トアルノハ「第百條ヲ削ル」ト云フ文字ニ更メテ願ヒマス、ソレカラ市制町村制改正法律案ノ方デ、町村制第百十九條ノ後ニ第百條ガ這入シテ居リマスガ、是ハ前ニ入ルベキ活版ノ誤デゴザイマス、百條モ前市制ト同ジク「削除」ト云フ字ハ「第百條ヲ削ル」ト云フノ誤デゴザイマス、同ジク御訂正ヲ願ヒマス、諸位委員會ニ於キマシテハ、市制中第六十條ノ改正ハ大體ガ簡單ナ理由デゴザイマシテ、人口ノ多イ所デハドウシテモ區分ケ、區長ヲ有給吏員トシテ、行政事務ノ敏活ヲ圖ルノガ適當ノコトデアルト云フ所カラ、斯ウ云フ風ニスペキモノト云フノデ、満場一致ヲ以テ可決ニナリマシタ、第百條ヲ削ルト云フコトハ、是

○議長(片岡健吉君) 読會省略テ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ 読會ヲ省略シテ直チニ確定議ニ掛リ

マス、本案ニ就イテ御異議アリマセヌカ

印紙稅法中改正法律案

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ 読會ヲ省略シテ直チニ確定議ニ掛リ

十一農業振興ニ關スル建議案、委員長ノ報告

確定議

農業振興ニ關スル建議案(鈴木儀左衛門外一名提出)

(委員長報告)

○多田作兵衛君(百二十九番) 極簡短デゴザイマス故ニ、自席ヨリ申述ベマス、此建議案ハ満場一致ヲ以テ其趣意ヲ贊成致スコトニ決シマシタ、簡短ニ申述ベマスト、第十三議會ニ於キマシテモ農事試驗場擴張ノ建議ヲ致シマシタノデ、現今ノ農事試驗場モ隨分效用ヲ爲シテ居リマスケレドモ、未だ十分其效用ヲ爲スノ域ニ進マヌノデゴザイマシテ、今少シク金ヲ増シテ完全ナ農事試驗場ニシタトイ云フノガ建議ノ大體デゴザイマスカラ、幸政府委員モ出席セラレテ居ル譯ニアリマスカラ、決シテ今日ノ農事試驗場擴張ノ建議ヲ致シマシテ、十五議會ニ擴張ノ議案ヲ發セラレンコトヲ希望致シテ置キマス

○恵松隆慶君(百四十二番) 此建議案ハ如何ニモ表題カラ宣ウゴザイマスカ

ヲ、是ハ直ニ満場一致ヲ可決ヲ望ミマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 委員長ノ報告通御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ 委員長ノ報告通決シマス、議事日程ノ第十二支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、長谷場純孝君……

第十一 支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案(犬養毅)

(委員長報告)

○議長(片岡健吉君) 君外(名提出)

支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案

支那ノ邦タル帝國商工業ノ大吐口タルト同時ニ列國商工業ノ競爭場タルハ今復言ヲ待タス之ヲ以テ列國就出英、諸國ハ夙ニ調査員ヲ此ノ地方ニ簡派シ精到周密ノ調査ヲ遂ケ各自利益ノ擴張ニ資シタル實ニ鮮少ト爲サス從テ支那ニ對シ等々國ノ商工業ハ近年非常ノ發達ヲ致スモノアリ此ノ際帝國ノ現狀ヲ顧レハ貿易ノ事業年々進歩ヲ見サルニ非サルモ彼我對岸ノ間ニ在リテ習慣風俗専嗜好需用供給社交交通等ニ付無比ノ便宜ヲ有スル帝國ノ行爲トシテハ實ニ逗撓滯滯タルヲ免レヌ是畢竟彼邦ノ事情ト利益ノ實體トノ未明カニ我邦人ニ認ムラレサルニ由ラスムハア

ラス

顧フニ我官民公私ノ間商工業ニ關シ從來調査ヲ試ミタル者ナキニ非ス然レトモ調査ノ區域及事項概ね偏窄狹少ニシテ未彼邦ニ對シ百般商工業ノ駢立進並馳ニ資スルニ足ラス各種ノ當業者之ヲ憂ヒ相議リテ支那調査會ヲ設立シ調査上必要ノ商工業者及専門ノ技術者ヲ彼邦ニ簡派シ觀ルヘキノ規模ニ依リテ調査ノ事業ニ著手セシムトス此ノ事業ノ成否如何ハ獨り其ノ當事者ヲ損益スルノミナラス帝國一般商工業ノ進歩發達上歎カラサル影響ア

ルヘキヲ信ス故ニ政府ハ之ニ對シ相當ノ助成金ヲ與ヘ其ノ目的ヲ貫徹セシメンコトヲ望ム

右建議

(長谷場純孝君演壇ニ登ル)

○長谷場純孝君(三十番) 諸君、吾々ハ大多數ノ贊成ヲ得マシテ、此支那調査會ノ事業助成ニ關スル建議案ヲ提出致シテゴザイマス、ソレニ附イテ極簡短ニ私が提出者ニ代ツテ説明ヲ致シマス、併シ極簡短トハ申シマスケレドモ其關スル範圍ガ廣クゴザイマスカラ、暫ク御清聽ヲ煩シタク、初ニ當テ此支那調査會ト云フモノヲ起シマシタ理由ヲ諸君ノ中ニハ飽クマテ御承知ガゴザリマセウケレドモ、或ハ御聽漏ノ御方ガアルカモ知レマセヌカラ、其概要ヲ御披露致シテ置キマス、此支那調査會ト云フモノハ、豫テ東南諸島ニ向テ諸君主唱者トシテ、之ヲ唱へマシテ昨年ノ九月ノ十八日ニ此準備委員會ヲ催フシタノデゴザイマス、其後本年ノ一月マデニ此會ニ贊同ノ意ヲ表セラレタ團體若クハ個人其數ハ餘程多分ニナツテ居ルノデゴザイマス、其重ナルモノヲ申上ゲマスレバ、日本貿易協會、東洋汽船會社、東亞同文會、東邦協會、筑豐工業組合、神戸實業協會、横濱正金銀行、臺灣銀行、臺灣協會、大日本綿絲紡績聯合會、大東汽船會社、大阪商船會社、大倉組、亞細亞協會、三井物産會社、其他個人トシテ同意ヲ表セラレテ此團體ヲ形作ダ、テゴザイマス、デ其事柄ハ既ニ建議書ニ記シテゴザイマスノデ、其理由等ノ如キモ殆ド建議書ニ臚列シテ漏サナイト云ツテモ宜カラウト思ヒマス、唯其一節ヲ御披露スルタメニ聊カ辯ジマスレバ、元ト此支那ハ國土ノ廣大ニシテ民衆ノ多キコトハ、誠ニ世界ニ餘り見ザル國柄デアルト云フコトハ、私ガ喋々スルノ必要モゴザイマセヌ、然ルニ彼支那ハマダ文明ノ氣風ガ所謂未開ノ地ニ立ツテ居ル場所ガ多イタメニ、諸般ノ所謂天產物ハ地ニ委シテ、マダ遺利ヲ拾ハナイト云フコトノ憾ノアルト云フコトハ、是レ亦諸君ガ飽クマテ御承知ノ通デアル、ソレガタメニマダ其大陸ノ中ニ放散シテアル所ノ利ト云フモノノ彼ノ内地ニ派遣致シマシカト云フコトハ殆ド邦人ハソレヲ認識スルコトガ得ナイ、今日デゴザイマスト云フモノハ十分ニ彼ノ内地ニ踏込ンデ、農工商業ノコトニ對シテ十分ノ調査ヲ爲シタ者ガマダナイデゴザイマス、サリナガラ歐米各國ニ大ニ茲ニ見ル所ガゴザリマシテ、業ニ既ニ此調査員ト云フモノノ彼ノ内地ニ派遣致シマシテソレガタメニ我邦ニ對比シマスルトキニ於テハ、大ニ彼等ハ其調査ヲ深く遂ゲ得テ居ル、其遂ゲ得タル結果トシテ、彼等ガ彼ノ地ニ向ツテ利益ヲ占メルト云フコトハ是レ亦諸君ノ今日御承知ノ通ノコトデアラウト思ヒマス、而シテ我邦ハ彼ノ國トハ一葦帶水ノ地ニ在リナガラ、前來申ス通未ダ彼ノ廣漠ナル實地ニ踏込ンデ、農工商等ノ事實ノ調査スルコトガ出來ナイ、即チシナイト云フコトハ誠ニ遺憾ニ堪ヘナイ譯デゴザイマス、故ニ此支那調査會ナルモノハ二ツノ標準ヲ以テ一ハ編纂、二ハ探檢ト、所謂大ナル部類デ二ツニ分ケマスレバ、一ハ編纂、一ハ探檢、此二大目的ヲ以テ彼地ニ人ヲ出シ、或ハ彼地ノ報告ヲ集メ若クハ洋ノ次ヲ問ハズ、彼地ニ附イテ集メタル書籍ヲ翻譯シテ、而シテ之ヲ遍ク世人ニ知ラシメ、ソレニ依ッテ、即チソレヲ指南車トシテ、我邦ノ農工商ノ事業ヲ大ニ向テ起サンコトヲ希望スルノニ止ルノデゴザイマス、大要ヲ申シマスレバ先づ是ダケノ事ヲ、併シ斯ノ如キ大方法ヲ以テ、或ハ團體若クハ個人ヨリシテ最早數万ノ金ヲ申込ニナツテ居マスノデゴザイマス、併シ此義捐金ノミニテ此大事業ヲ成就スルコトハ甚ダ

堪へ難イコトデゴザイマスカラ、又一面カラ見マシタナラバ、斯ノ如キ事業ハ國家トシテ宣シク其者ニ向クテ助成ヲ加ヘテ、我邦ノ農工商業ノ發達ヲ圖リ、而シテ日清兩國ノ關係ヲ厚フスルト云フコトハ、決シテ爲スペカラザルコトデナイ、如何ニモ國家ガ進デ爲スペキコトデアラウト、吾ミハ信ズルノデゴザイマス、故ニ額ノ多少ハ吾々提出者ハソレド國庫ノ方ノ支出入ニ顧ル所モゴザイマセウカラシテ、此場合ニ於テ幾ラト云フ金額ヲ切クテ、建議ハ致マセヌ、國家ハ斯ノ如キモノニ向クテ、相當ノ補助ヲ與ヘラレントヲ希望スルノデゴザイマス、大要ヲ申シマスレバ、其通デ、極直裁簡明ナル所ノ理由デゴザイマスカラ、諸君ハ何卒御贊成下サレマシテ、滿場一致ヲ以テ即決アランコトヲ希望致シマス、尙ホは貴族院ニ於テハ二三日後トニ多數ヲ以テ通過セラレタ案デゴザリマスカラ、念ノタメニ申上ゲテ置キマス

(「贊成々々ト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 是ハ至極宜シイ案デゴザイマスルカラ、滿場一致ヲ以テ贊成アランコトヲ望ムマス

○議長(片岡健吉君) 建議案通御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ原案ノ通決シマス、議事日程ノ第十三日、本綱通業補助ニ關スル建議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、恵松隆慶君

第十三 日本綱通業補助ニ關スル建議案(北田豊三郎君外七名提出)

綱通ハ本邦ノ重要輸出品ニシテ海外ノ需用ニ適シ明治七年創メテ輸出ヲ試ミニモ同二十八年ニ至リテハ一箇年ノ產額百十七萬四千七百餘疊價額殆ト二百萬圓ニ達シ其ノ產地大阪、兵庫、京都、山口、奈良、福岡、滋賀、和歌山、佐賀、愛知ノ各府縣ニテ一時盛況ヲ呈シ其ノ他ノ地方ニ及サムトセシモ粗染濫製ノ爲爾後漸次衰頽シテ現今不振ノ悲境ニ陷ル而シテ本品ノ種類中麻綱通ハ最大部分ヲ占メ其ノ原料ノ如キモ米、綿、大豆等ノ外包麻袋ノ廢物ヲ利用シ製造スルヲ以テ國益ヲ裨補スルモ亦少シトセス今ニシテ之ヲ救濟セスムハ到底隆域ニ進ムヲ得ス或ハ全ク廢棄ニ歸シ遂ニ國利ヲ失フノ不幸ヲ見ルモ計リ知ルヘカラス此ノ際當局者ハ宜ク斯業ニ對シ相當ノ保護ヲ與ヘ組合ノ聯合ヲ扶掖シ之ヲ矯正セシメ傍ラ専門ノ士ヲ海外ニ派シ益々販路ヲ擴張シ輸出ノ隆盛ヲ圖ルヲ以テ目下緊要ナル急務ナリト認ム故ニ政府ハ日本綱通業ニ對シ相當ノ補助ヲ與ヘムコトヲ望ム

右建議ス

(恵松隆慶君演壇ニ登ル)

○恵松隆慶君(百四十三番) 級ニ日本綱通業補助ニ關スル建議案ヲ提出致シテ置キマシタ、私モ提出者ノ一人デゴザイマスルガ、聊カ理由ヲ述べテ、諸君ノ御贊成ヲ請ハウト思ヒマス、本邦ノ重要輸出品ノ最モ重ナル綱通杯ハ種類ノモノデアル、從來ハ米國ヲ以テ最モ大ナル花客ト致シテ居ツタノデゴザイマス、明治二十七八年ノ頃ヨリ頓ニ成長ガ一變致シマンテ、益々是ガ増加致シマシタニ附キマシテ、粗製濫造大ニ聲價ヲ傷ケマシタデ、是等ノタメニ又關稅增加ノタメニ大ニ輸出ニ頓挫ヲ起シタ次第ゴザイマス、爾來此業ヲ進メテ往カネバナラヌコトデアリマスルケレドモ、何分資本ガ意ノ

如クナラヌガタメニ、十分ナ目的ヲ達スルコトガ出來ナリ、故ニ是ニハ相當ナ補助ヲ與ヘテ、此擴張ヲ圖リタイト思ヒマス、多ク輸出ハ米國英國、其他ソレソレ輸出ノ割合モアルノデスガ、細ナ事ヲ述ベマスレバ、長クナリマスルガ、元來綱通ハ大阪、兵庫、京都、山口、奈良、福岡、滋賀、和歌山、佐賀、愛知等ノ各府縣ニ於キマシテ盛ニ之ヲ製造スルモノニアリマス、然ルニ此粗製濫造ノタメニ、今日ノ境遇ニ至シタモノゴザイマスデ、ドウカ是ニハ此際政府ニ於キマシテ宣シク斯業ニ對シテ相當ノ保護ヲ與ヘ、組合ヲ監督シ、或ハ専門ノ士ヲ海外ニ派遣シ、販路ノ擴張ヲ圖リ、内ニ在リマシテハ検査所及輸出ヲ盛ニセシコトヲ希望ムノデアリマス、是ガ國家ノ最大ノ急務ト信ジマスルデ、吾ミハ茲ニ此建議案ヲ出シタノデアリマス、政府ハ宣シク此事業ノタメニ相當ノ補助ヲ與ヘラレンコトヲ希望ムノデアリマス、是等ノコトハ詰リ貿易ニ關係シ、我國ヲ強クスルト云フノ問題デ、別ニ反対ノアル譯ハナイ、又會期切迫ノ今日デゴザイマスカラ、宜シク諸君之ヲ御贊成下サイマシテ即決アランコトヲ冀望致シマス

(參照)

明治二十三年ヨリ十箇年間綱通概計
年 次 製 產 高 値 額
明治二十三年 同二十四年 同二十五年 同二十六年 同二十七年 同二十八年 同二十九年 同三十一年 同三十二年 同三十三年 同三十四年

年	明治二十三年ヨリ十箇年間綱通概計	年	明治三十二年マテ								
次	製 產 高	次	製 產 高	次	製 產 高	次	製 產 高	次	製 產 高	次	製 產 高
	額		額		額		額		額		額
合	羊 綿 麻	毛 段 通	段 通	類	類	類	類	類	類	類	類
計	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其	其
但シ一疊ハ	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五	大三六、七五
丈幅六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸	六尺三寸
比例	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇
大	福	大	福	大	福	大	福	大	福	大	福
阪	岡	阪	岡	阪	岡	阪	岡	阪	岡	阪	岡
府	府	府	府	府	府	府	府	府	府	府	府
兵	佐	兵	佐	兵	佐	兵	佐	兵	佐	兵	佐
庫	賀	庫	賀	庫	賀	庫	賀	庫	賀	庫	賀
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
產	地	產	地	產	地	產	地	產	地	產	地

海外ヘ輸出スル段通ハ從來米國カ重ナリシ英、佛等ハ明治十年頃ヨリ見本ヲ出シ以來年々少々宛ノ注文アリ、明治二十七八年ハ米國向キ輸出ノ最モ盛況ヲ極メタル時ナリ一時注文ノ嵩ミタルヨリ粗製或ハ濫賣等ノ弊ヲ生シタルヨリ注文稍減シ商況免角不振ノ折柄米國關稅增加ノコトアリ爲ニ同國ヘノ輸出ハ終ニ頓挫シタリ爾後當業者ハ製造上ニ注意シ且ツ染色ノ故貢等大ニ商狀恢復ニ熱中スルモ常ニ資金ノ爲ニ其目的ヲ果スコトヲ得ス而シテ三十年以來ハ英米需要ノ度變轉ス現今ノ需要國別ハ概不左ノ如シ

年アルベキ洪水デアルヤウニナシタ、一昨年ハ六七万ノ移住民ガアツタサウデ
アリマスガ、他ノ理由モアラウケレドモ、此洪水ノ害ヲ受ケテ飛ダ災危ニ遇ッ
タト云フ評判ガ傳播シマシタノモ、餘程大原因デアリマセウカ、昨年ハ移住シ
タ者ガ二四千ト申スコトデアル、非常ニ移住民ノ數ノ減リヤウデゴザイマス
デ、北海道ト云フ所ノ川ハ、此川ノミナラズ、總テ天然ノ姿デ居リマスカラ、非
常ニ害ヲ爲サナカツタガ、奥ノ方カラ開ケリヤ、是マデ無事ナ川モ、一時ニ水
ガ流レルカラ、洪水ガ起ルト云フコトハ、是ハアルベキ數デアツテ、一昨年
昨年未曾有ノ大洪水ト思タテ居タ洪水ハ、道理ノ上カラ年々アルベキ咎ノ洪
水ニナルダラウト思フヤウナ事柄デゴザイマスガ、是ニ附イテハ政府ハ尙ホ
三五年ヲ期シテ、川ノ性質カラ兩量カラ計ツテ、治水ノ道ヲ講ズルト申シテ
ハ居リマスケレドモ、應急ノ工事ヲ施ス必要ヲ認メマシタカラ、即チ此建議
案ハ適當ナモノト委員會デハ認メタノアリマス、併ナガラ最初ノ案デハ
此終ノ石狩川口ニ至ル河身改築工事ノ設計ヲ立て、以テ是ガ豫算トアル所ヲ
「以テ」ノ一字ヲ削シテ、其他若シ之ニ優リタル設計アラバ、其設計ニ依リ
是ガ豫算云ミト廣ク融通ノ附クヤウニ修正スルコトヲ必要ト認メマシテ、修
正ニナツタノデゴザイマス、ドウカ御賛成アランコトヲ希望致シマス

○早川龍介君(二百九十八番) 簡短ナ質問デスガ、一言承リマス、此川ノ河
口ハ十分ナ修理ガ出來マスカ、且ツ北海道廳デ非常ニ此河口ガ良港灣ニナル
ヤウナコトニ傳承シテ居リマスガ、或ハ設計ノ中ニ一ノ港灣ヲ設備スルヤウ
ナコトモ委員會デ御調ニナツテ居リマスカ

○神鞭知常君(二百九十四番) 此委員會デハ其調ハ致シマセヌデシタガ、政
府委員ノ言フニハ此應急工事ヲ建議ノ儘デ直チニヤラウトスルト、或ハ川ノ
水ガ急ニ流レテ、此港ノ人家坏モ危ブナイヤウナコトガアリハセヌカ、心配ス
ルト云フコトヲ申シテ居リマシタ、ソレ等ノコトニ附イテハ、唯心配スルト
云フダケデ抛シテ置イチヤナラナイ、ソレデ細カイ精密ナ調ハ後トニシテ最
早今日デ分シテ居ル所ノ應急工事ヲ先キヘスルト云フコトニ向シテハ、サウ
精密ナ調査ヨリモ害ナナイダケデ、後トテ本當ナコトヲスルニ妨ナナイ程度ニ
於テ出來ベキ咎デアルト云フコトヲ以テ、話ヲ致シタノデアリマス、ソレカ
ラ此港ノコトハ此處デハ答辯スル分デナイト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス諸般ノ報告ガアリマス
ノ第十六特別報告第八號 地價修正不當ニ付再

(特別報告第八號) 地價修正不當ニ付再
(委員長報告)

第十六 (修正ノ請願)
(内藤守三君演壇ニ登ル)
○内藤守三君(三十四番) 地價修正不當ニ付再修正ノ請願、本件ニ對シ請願
委員會ニ結果ヲ御報告致シマス、此請願ハ隨分入組ンダ請願デアル、又請願委
員ガモウ散會前デアリマスカラ、極約メテ申上ゲマスガ、其大要ハ此請願ヲ
提出シテ居ル所ノ高平村ト云フ村ハ、舊來ハ川邊郡デアツタ、川邊郡ノ高平村
デアリマシタ所ガ、地形ノ便利ニ依ツテ明治二十九年四月ヲ以テ其郡郡ナル
有馬郡ニ編入致シタモノデアル、ソコデ唯今デハ有馬郡デアルガ、元
ハ川邊郡ノ高平村デアツタノデアル、此行政區域ヲ變更シタルガタメニ高
平村ノ地價修正、即チ明治三十一年法律第三十一號ヲ以テ修正ヲシタ、其修正

水ニナルダラウト思フヤウナ事柄デゴザイマスガ、是ニ附イテハ政府ハ尙ホ
三五年ヲ期シテ、川ノ性質カラ兩量カラ計ツテ、治水ノ道ヲ講ズルト申シテ
ハ居リマスケレドモ、應急ノ工事ヲ施ス必要ヲ認メマシタカラ、即チ此建議
案ハ適當ナモノト委員會デハ認メタノアリマス、併ナガラ最初ノ案デハ
此終ノ石狩川口ニ至ル河身改築工事ノ設計ヲ立て、以テ是ガ豫算トアル所ヲ
「以テ」ノ一字ヲ削シテ、其他若シ之ニ優リタル設計アラバ、其設計ニ依リ
是ガ豫算云ミト廣ク融通ノ附クヤウニ修正スルコトヲ必要ト認メマシテ、修
正ニナツタノデゴザイマス、ドウカ御賛成アランコトヲ希望致シマス

○早川龍介君(二百九十八番) 簡短ナ質問デスガ、一言承リマス、此川ノ河
口ハ十分ナ修理ガ出來マスカ、且ツ北海道廳デ非常ニ此河口ガ良港灣ニナル
ヤウナコトニ傳承シテ居リマスガ、或ハ設計ノ中ニ一ノ港灣ヲ設備スルヤウ
ナコトモ委員會デ御調ニナツテ居リマスカ

○神鞭知常君(二百九十四番) 此委員會デハ其調ハ致シマセヌデシタガ、政
府委員ノ言フニハ此應急工事ヲ建議ノ儘デ直チニヤラウトスルト、或ハ川ノ
水ガ急ニ流レテ、此港ノ人家坏モ危ブナイヤウナコトガアリハセヌカ、心配ス
ルト云フコトヲ申シテ居リマシタ、ソレ等ノコトニ附イテハ、唯心配スルト
云フダケデ抛シテ置イチヤナラナイ、ソレデ細カイ精密ナ調ハ後トニシテ最
早今日デ分シテ居ル所ノ應急工事ヲ先キヘスルト云フコトニ向シテハ、サウ
精密ナ調査ヨリモ害ナナイダケデ、後トテ本當ナコトヲスルニ妨ナナイ程度ニ
於テ出來ベキ咎デアルト云フコトヲ以テ、話ヲ致シタノデアリマス、ソレカ
ラ此港ノコトハ此處デハ答辯スル分デナイト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス諸般ノ報告ガアリマス
ノ第十六特別報告第八號 地價修正不當ニ付再

第十六 (修正ノ請願)
(内藤守三君演壇ニ登ル)
○内藤守三君(三十四番) 地價修正不當ニ付再修正ノ請願、本件ニ對シ請願
委員會ニ結果ヲ御報告致シマス、此請願ハ隨分入組ンダ請願デアル、又請願委
員ガモウ散會前デアリマスカラ、極約メテ申上ゲマスガ、其大要ハ此請願ヲ
提出シテ居ル所ノ高平村ト云フ村ハ、舊來ハ川邊郡デアツタ、川邊郡ノ高平村
デアリマシタ所ガ、地形ノ便利ニ依ツテ明治二十九年四月ヲ以テ其郡郡ナル
有馬郡ニ編入致シタモノデアル、ソコデ唯今デハ有馬郡デアルガ、元
ハ川邊郡ノ高平村デアツタノデアル、此行政區域ヲ變更シタルガタメニ高
平村ノ地價修正、即チ明治三十一年法律第三十一號ヲ以テ修正ヲシタ、其修正

ガ有馬郡ノ平均歩合ヲ以テ地價修正ヲ受ケテ居ルト云フノデアル、元來此三
十一年ノ地價修正歩合ヲ、ドウデアルカト云フト、有馬郡ノ地價遞減ノ歩合
タト云フ評判ガ傳播シマシタノモ、餘程大原因デアリマセウカ、昨年ハ移住シ
タ者ガ二四千ト申スコトデアル、非常ニ移住民ノ數ノ減リヤウデゴザイマス
デ、北海道ト云フ所ノ川ハ、此川ノミナラズ、總テ天然ノ姿デ居リマスカラ、非
常ニ害ヲ爲サナカツタガ、奥ノ方カラ開ケリヤ、是マデ無事ナ川モ、一時ニ水
ガ流レルカラ、洪水ガ起ルト云フコトハ、是ハアルベキ數デアツテ、一昨年
昨年未曾有ノ大洪水ト思タテ居タ洪水ハ、道理ノ上カラ年々アルベキ咎ノ洪
水ニナルダラウト思フヤウナ事柄デゴザイマスガ、是ニ附イテハ政府ハ尙ホ
三五年ヲ期シテ、川ノ性質カラ兩量カラ計ツテ、治水ノ道ヲ講ズルト申シテ
ハ居リマスケレドモ、應急ノ工事ヲ施ス必要ヲ認メマシタカラ、即チ此建議
案ハ適當ナモノト委員會デハ認メタノアリマス、併ナガラ最初ノ案デハ
此終ノ石狩川口ニ至ル河身改築工事ノ設計ヲ立て、以テ是ガ豫算トアル所ヲ
「以テ」ノ一字ヲ削シテ、其他若シ之ニ優リタル設計アラバ、其設計ニ依リ
是ガ豫算云ミト廣ク融通ノ附クヤウニ修正スルコトヲ必要ト認メマシテ、修
正ニナツタノデゴザイマス、ドウカ御賛成アランコトヲ希望致シマス

○早川龍介君(二百九十八番) 簡短ナ質問デスガ、一言承リマス、此川ノ河
口ハ十分ナ修理ガ出來マスカ、且ツ北海道廳デ非常ニ此河口ガ良港灣ニナル
ヤウナコトニ傳承シテ居リマスガ、或ハ設計ノ中ニ一ノ港灣ヲ設備スルヤウ
ナコトモ委員會デ御調ニナツテ居リマスカ

○神鞭知常君(二百九十四番) 此委員會デハ其調ハ致シマセヌデシタガ、政
府委員ノ言フニハ此應急工事ヲ建議ノ儘デ直チニヤラウトスルト、或ハ川ノ
水ガ急ニ流レテ、此港ノ人家坏モ危ブナイヤウナコトガアリハセヌカ、心配ス
ルト云フコトヲ申シテ居リマシタ、ソレ等ノコトニ附イテハ、唯心配スルト
云フダケデ抛シテ置イチヤナラナイ、ソレデ細カイ精密ナ調ハ後トニシテ最
早今日デ分シテ居ル所ノ應急工事ヲ先キヘスルト云フコトニ向シテハ、サウ
精密ナ調査ヨリモ害ナナイダケデ、後トテ本當ナコトヲスルニ妨ナナイ程度ニ
於テ出來ベキ咎デアルト云フコトヲ以テ、話ヲ致シタノデアリマス、ソレカ
ラ此港ノコトハ此處デハ答辯スル分デナイト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス諸般ノ報告ガアリマス
ノ第十六特別報告第八號 地價修正不當ニ付再

第十六 (修正ノ請願)
(内藤守三君演壇ニ登ル)
○内藤守三君(三十四番) 地價修正不當ニ付再修正ノ請願、本件ニ對シ請願
委員會ニ結果ヲ御報告致シマス、此請願ハ隨分入組ンダ請願デアル、又請願委
員ガモウ散會前デアリマスカラ、極約メテ申上ゲマスガ、其大要ハ此請願ヲ
提出シテ居ル所ノ高平村ト云フ村ハ、舊來ハ川邊郡デアツタ、川邊郡ノ高平村
デアリマシタ所ガ、地形ノ便利ニ依ツテ明治二十九年四月ヲ以テ其郡郡ナル
有馬郡ニ編入致シタモノデアル、ソコデ唯今デハ有馬郡デアルガ、元
ハ川邊郡ノ高平村デアツタノデアル、此行政區域ヲ變更シタルガタメニ高
平村ノ地價修正、即チ明治三十一年法律第三十一號ヲ以テ修正ヲシタ、其修正

ガ有馬郡ノ平均歩合ヲ以テ地價修正ヲ受ケテ居ルト云フノデアル、元來此三
十一年ノ地價修正歩合ヲ、ドウデアルカト云フト、有馬郡ノ地價遞減ノ歩合
タト云フ評判ガ傳播シマシタノモ、餘程大原因デアリマセウカ、昨年ハ移住シ
タ者ガ二四千ト申スコトデアル、非常ニ移住民ノ數ノ減リヤウデゴザイマス
デ、北海道ト云フ所ノ川ハ、此川ノミナラズ、總テ天然ノ姿デ居リマスカラ、非
常ニ害ヲ爲サナカツタガ、奥ノ方カラ開ケリヤ、是マデ無事ナ川モ、一時ニ水
ガ流レルカラ、洪水ガ起ルト云フコトハ、是ハアルベキ數デアツテ、一昨年
昨年未曾有ノ大洪水ト思タテ居タ洪水ハ、道理ノ上カラ年々アルベキ咎ノ洪
水ニナルダラウト思フヤウナ事柄デゴザイマスガ、是ニ附イテハ政府ハ尙ホ
三五年ヲ期シテ、川ノ性質カラ兩量カラ計ツテ、治水ノ道ヲ講ズルト申シテ
ハ居リマスケレドモ、應急ノ工事ヲ施ス必要ヲ認メマシタカラ、即チ此建議
案ハ適當ナモノト委員會デハ認メタノアリマス、併ナガラ最初ノ案デハ
此終ノ石狩川口ニ至ル河身改築工事ノ設計ヲ立て、以テ是ガ豫算トアル所ヲ
「以テ」ノ一字ヲ削シテ、其他若シ之ニ優リタル設計アラバ、其設計ニ依リ
是ガ豫算云ミト廣ク融通ノ附クヤウニ修正スルコトヲ必要ト認メマシテ、修
正ニナツタノデゴザイマス、ドウカ御賛成アランコトヲ希望致シマス

○早川龍介君(二百九十八番) 簡短ナ質問デスガ、一言承リマス、此川ノ河
口ハ十分ナ修理ガ出來マスカ、且ツ北海道廳デ非常ニ此河口ガ良港灣ニナル
ヤウナコトニ傳承シテ居リマスガ、或ハ設計ノ中ニ一ノ港灣ヲ設備スルヤウ
ナコトモ委員會デ御調ニナツテ居リマスカ

○神鞭知常君(二百九十四番) 此委員會デハ其調ハ致シマセヌデシタガ、政
府委員ノ言フニハ此應急工事ヲ建議ノ儘デ直チニヤラウトスルト、或ハ川ノ
水ガ急ニ流レテ、此港ノ人家坏モ危ブナイヤウナコトガアリハセヌカ、心配ス
ルト云フコトヲ申シテ居リマシタ、ソレ等ノコトニ附イテハ、唯心配スルト
云フダケデ抛シテ置イチヤナラナイ、ソレデ細カイ精密ナ調ハ後トニシテ最
早今日デ分シテ居ル所ノ應急工事ヲ先キヘスルト云フコトニ向シテハ、サウ
精密ナ調査ヨリモ害ナナイダケデ、後トテ本當ナコトヲスルニ妨ナナイ程度ニ
於テ出來ベキ咎デアルト云フコトヲ以テ、話ヲ致シタノデアリマス、ソレカ
ラ此港ノコトハ此處デハ答辯スル分デナイト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 本案ハ委員長ノ報告通御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通決シマス諸般ノ報告ガアリマス
ノ第十六特別報告第八號 地價修正不當ニ付再

滿期軍用馬匹ニ關スル建議案
委員長 野尻 岩次郎君

登録稅法中改正法律案
委員長 木村 格之輔君

明治二十二年法律第三十四號中改正法律案
委員長 永田 佐次郎君

官設鐵道郵便電信郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金出納ニ關スル法律案
外一件

日本勸業銀行法中改正法律案
委員長 井上 源衛君

郵便法案兩院協議會議長及副議長左ノ適當選セラレタリ
議長 大東 義徹君

根本正君ヨリ貴族院令ニ關スル質問書ヲ提出セラレタリ
特別委員左ノ通指名セリ

水難救助護法中改正法律案
磯田 和藏君

廣住 久道君

和波 九十郎君

府縣農事試驗場國庫補助法中改正法律案
稻垣 示君

秋山 源兵衛君

小林 乾一郎君

明治三十三年二月十六日
提出者 根本正

贊成者 山口 熊野
外三十三名

貴族院令ニ關スル質問主意書
明治二十二年二月勅令第一號貴族院令第五條ニ國家ニ勳勞アリ又ハ學識

アル三十歳以上ノ男子ニシテ勅任セラレタルモノハ終身議員タルヘシ
トアリ然ルニ同令第七條ニ依リ勅任議員ハ其定員ニ限リアルヲ以テ新ニ勅

任スヘキ適任者アルモ之ヲ選任スルコト能ハス是レ任期終身ノ規定ハ徒ニ
賢路擁塞ノ弊害タルヲ免レサルナリ依リテ第五條中終身議員タルヘシトア

ルヲ政府ハ其當ヲ失セリト認メ之カ任期ヲ制限スルノ意見ナキヤ如何速ニ
確答アランコトヲ望ム

○議長(片岡健吉君) 明日ノ議事日程ヲ御報道致シマス

議事日程 第二十八號 明治三十三年二月十七日(土曜日)

午後一時開議
(貴族院回付)

第一 (第一號) 明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案
(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲

第二 (追第一號) 諸要スル件(貴族院回付)
第三 漁業法案(政府提出責)

第一讀會ノ續(委員長)
報告

第四 蠶種検査法中改正法律案(政府提出責)
官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便
貯金ニ屬スル現金出納ニ關スル法律案

第五 明治二十二年法律第二十一號中改正法
第六 律案(政府提出)
第七 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出貴)
(政府提出)

第八 所得稅法中改正法律案(西川宇吉郎)
第九 獵獵法中改正法律案(大津淳一郎)
第十 明治二十二年法律第三十四號廢止法律案(持田直外)
第十一 取引所法中改正法律案(早川龍介外)
第十二 混成酒稅法中改正法律案(十名提出)
第十三 酒造稅法中改正法律案(大塚常次郎)
第十四 登錄稅法中改正法律案(林喬外四名提出)
第十五 登錄稅法中改正法律案(安川繁成外)
第十六 酒造稅法中改正法律案(大島常次郎)
第十七 網走港修築及北見幹線鐵道速成ニ關スル建
第十八 大船渡開港鐵道國庫補助ニ關スル建議
第十九 議案(西原清東外)
二十一名提出
第二十 石川縣七尾港燈明臺設置ニ關スル建議
案(下飯坂樺三郎外)
二十七名提出
第二十一 七尾港暗礁破碎ノ建議案(鈴木重遠外)
(外五名提出)
午後三時三十六分散會

○議長(片岡健吉君) 是ニテ散會致シマス
衆議院議事速記録第二十四號正誤
正誤

(委員長報告)

第二十一 七尾港暗礁破碎ノ建議案(淺野順平外)
(正誤)

(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長)
報告

第一讀會ノ續(委員長)
報告